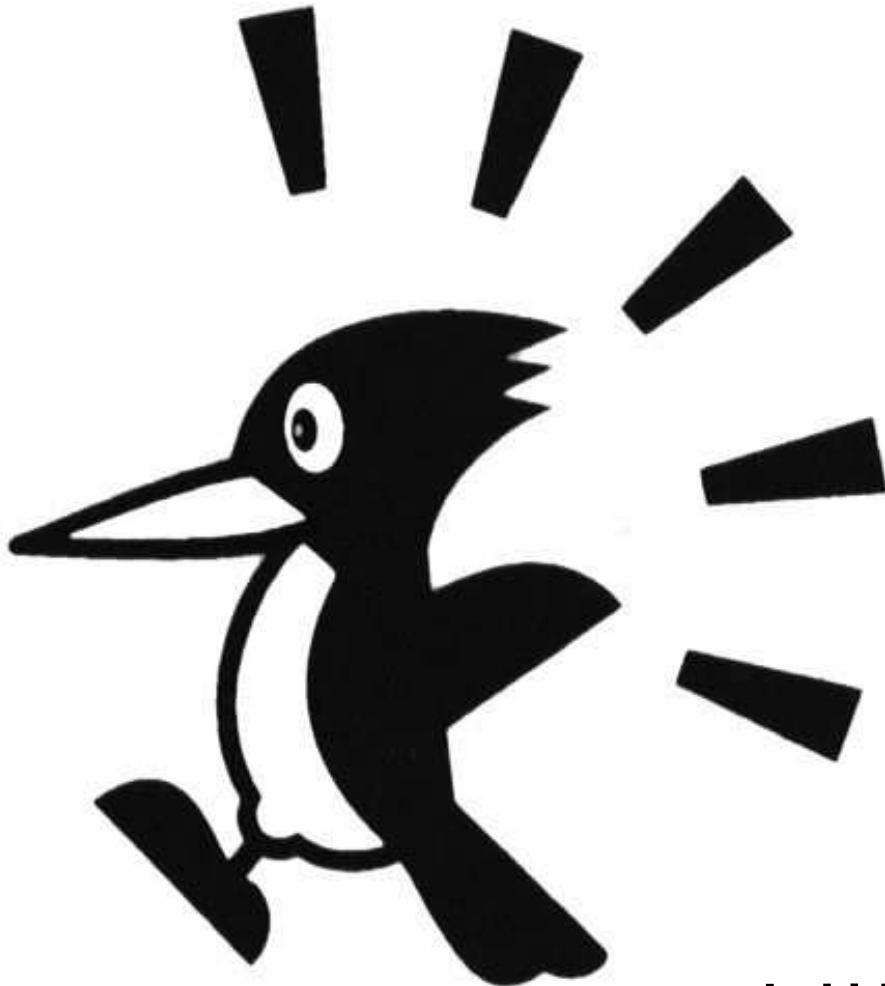


第 2 次
旭地区まちづくり計画
2021-2030

< 後期計画 2026-2030 >

つながる、楽しむ。普通が素敵。
だもんで、旭。



旭地域会議



ますます高まる取組の重要性

旭地区まちづくり計画が初めて作られたのは 2011 年。10 年の取組期間を経て、2020 年に第 2 次まちづくり計画が作られ、5 年経過した今年度、後期 5 か年の旭地区まちづくり計画を地域会議で作ることとなりました。私たちは、基本構想や前期 5 か年計画を学び深め、骨子案を肉付けしながら後期計画を作り上げましたが、地域の皆さんへのアンケートから気づいたことが 2 つあります。

1 つ目は「気持ちが通い合う住民参加のまちづくり」や「美しさや魅力あふれるまちづくり」に関しては、現在の姿に満足していないが重要性を感じていると答えた方が多いという点。2 つ目は「安全に安心して暮らしていけるまちづくり」に関しては、現在の姿に満足しており、さらに重要性を感じていると答えた方が多いという点。この 2 つから、旭地区の皆さんには現状に満足せず、今後一層の取組の重要性を感じているということが分かったのです。

しかしながら、前期 5 か年を振り返ってみると、様々な課題が浮き彫りにされました。人口減少や少子高齢化は日本のトップを走り、コロナ禍を経て、お祭りの消失や商店の廃業、こども園の休園など無くなってしまったものも増えています。

反面、旭には多くの自慢でき誇れる新たな取組が、地域の皆さんの手で創り出されていました。それは様々な課題や困りごとを、人と人との結びつきの中で、支え合い助け合ってきた旭の皆さんの温かさがもたらした結果だと思います。また、旭地区に移住された方が 100 組を超え、旭地区を選び、この旭地区で生き生きと活動されていることが、これから旭にとっての大きな希望になっていくことも感じ取れました。

変化が激しく、先行きが不透明な時代だからこそ、私たちが大切にしてきたことは、旭では当たり前になっているお互いの顔が見える関係性を保つこと、困ったときに助け合える横のつながりを、次世代の子どもたちにもつなげていくことです。

「いつまでも安心して暮らし続けられる旭地区」にしていきたいという思いを込め、そして、今後 5 年間で旭のために私たち地域住民は何ができるだろうかを考えまとめ、一つの羅針盤として旭地区の方々が手に取っていただけるように考えたまちづくり計画です。ぜひご一読ください、今後の取り組みに生かしていただきたいと考えます。

最後に、アンケートをはじめ、地域で活動する皆さんにも地域会議との意見交換にご協力いただきましたこと、多くの皆さんのがんばりにより後期計画を策定できましたこと、心より感謝申し上げます。

2026 年 2 月

旭地域会議会長　板倉小夜子

— 目 次 —

旭地区の現況	2
第2次旭地区まちづくり計画の概要	4
第2次旭地区まちづくり計画前期計画（2021～2025）の総括	6
計画の全体像	10
後期5か年計画（2026～2030）	11
重点取組項目1 「気持ちが通い合う住民参加のまちづくり」	12
取組分野1 移住・定住	13
取組分野2 子育て、学び・育ち	14
取組分野3 健康づくり	15
重点取組項目2 「安全に安心して暮らし続けられるまちづくり」	16
取組分野1 福祉	17
取組分野2 道路・交通、生活	18
取組分野3 防災、交通安全・防犯	19
重点取組項目3 「美しさと魅力あふれるまちづくり」	20
取組分野1 産業（農林業・商業）	21
取組分野2 観光・交流	22
取組分野3 まち、歴史・文化	23
<資料編>	
旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査 結果報告書	24
計画策定の経緯	58
(1) 策定の主な経過	58
(2) 策定委員	59

旭地区の現況

旭地区の人口推移

旭地区では、この5年間で350人以上の人口が減少し、児童・生徒数も12人減少しています。このままの状態で推移した場合、2040年の人口は、1,500人を下回ると予測されています。

■これまでの人口の推移（各年4月1日現在）

単位：人

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
人口	2,600	2,522	2,422	2,375	2,318	2,244
世帯数	1,075	1,055	1,032	1,041	1,035	1,029
人口増減数		△78	△100	△47	△57	△74
内訳	-	△35	△42	△49	△47	△45
自然増減※1		△43	△58	2	△10	△29
社会増減※2						
出生数	14	1	4	5	7	-
高齢化率	45.5%	46.4%	47.7%	48.0%	48.7%	49.6%

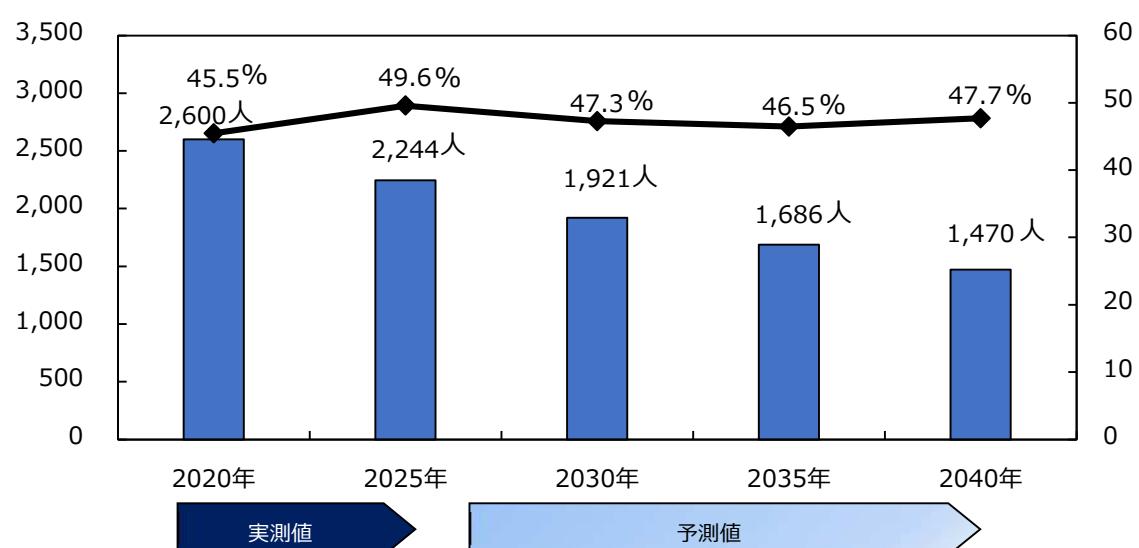
※1 生まれた人の数となくなった人の数の差 ※2 転入した人の数と転出した人の数（市内転居含む）の差

■児童・生徒数の推移（各年5月1日現在）

単位：人

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
小渡小学校	38	38	38	34	29	26
敷島小学校	48	53	55	53	47	48
旭中学校	44	40	39	33	41	44
合計	130	131	132	120	117	118

■人口及び高齢化率の将来予測（各年4月1日現在）※出典：旭地域カルテ



■空き家情報バンクの成約状況（※2025年度は12月末現在の数値）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
件数	10件	2件	6件	5件	5件	4件
人数	13人	4人	11人	10人	11人	9人
制度開始以降	80件	82件	88件	93件	98件	102件
累計	189人	193人	204人	214人	225人	234人

地域カルテ※からわかる旭地区の特徴

旭地域カルテ（2022年4月版）から、旭地区の特徴として、次のようなことが挙げられます。

- 豊田市の住みよさ満足度 が 減少している
- 旭地区住民の定住意識 は 上昇している
- 住民参加型のまちづくりが進められていると思う人 が 減少している
- 概ねすべての年代 が 防災対策や医療の充実を求めている傾向が強い

※地域カルテ…地域の概況や将来推計、まちづくりへの参加状況などを中学校区ごとにまとめたもの

旭地域カルテ（豊田市ホームページ）

<http://www.city.toyota.aichi.jp/shisei/jichiku/1037159/1053954.html>

**この5年間で始まったもの、なくなつたもの**

旭地区ではこの5年間で、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、旅館・飲食店などの商業施設が減少し、また、令和7年度から小渡こども園が休園になりました。

一方で、住民共助の新たな取組や地域団体等と連携した先進的な取組など、今後、旭地区を持続可能な地域にしていくための住民主体の取組がたくさん始まっています。



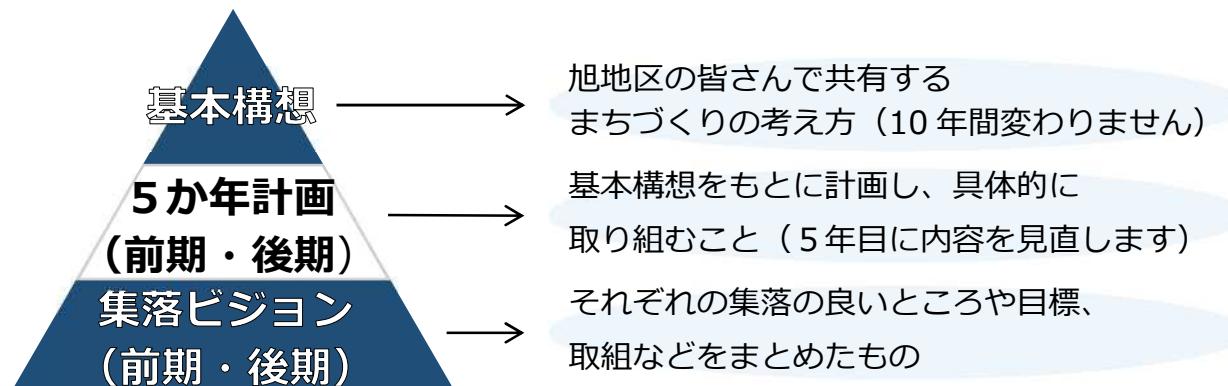
第2次旭地区まちづくり計画の概要

旧旭町が豊田市と合併して16年が経ちます。この間、「この地域をさらに良くしよう」と考え行動する多くの人たちによって、様々な取組が行われてきました。2011年度には「旭地区まちづくり計画（計画期間：2011～20年）」を策定し、まちづくりの方向性が明確となり、活発な地域活動や移住者の受入れが実現しています。

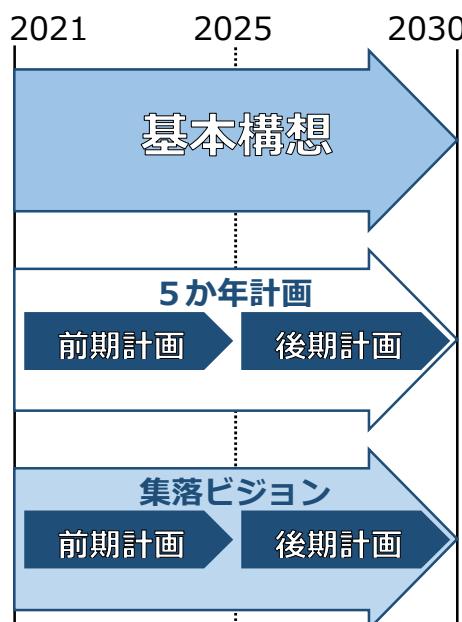
「第2次旭地区まちづくり計画」は、前計画を受け継ぎ、旭地区の皆さんがあつづくりの考え方を共有し、「旭地区をもっと住みやすいまちにしたい」と思う人が、それぞれの立場で、自主的にまちづくりに取り組むことができるようになる「道しるべ」です。

計画は、「基本構想」「5か年計画」「集落ビジョン」の3つから成ります。

第2次旭地区まちづくり計画の構成



計画期間



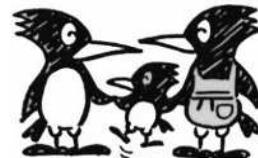
- **基本構想**：10年間（2021～30年度）
「基本理念」「めざす姿」の2つで構成されます。
 - ・ 基本理念 まちづくりを進めるために皆さんで共有する基本的な考え方
 - ・ めざす姿 10年後にめざす旭地区の姿
- **5か年計画**：前期5年間（2021～25年度）
後期5年間（2026～30年度）
 - ・ 具体的な取組内容をまとめた5年ごとの計画
- **集落ビジョン**：前期5年間（2021～25年度）
後期5年間（2026～30年度）
 - ・ 町内会ごとの地域づくりの方針と具体的な取組内容をまとめた5年ごとの計画

【まちづくりの基本理念】

「まちづくりの基本理念」は、旭地区に住む皆さんがあつづくり活動をするにあたり、基本的な考え方として共に持ち続けたい「合い言葉」です。

つながる、楽しむ、普通が素敵。だもんで、旭。

「まちづくり」とは何か?と考えたとき、そこに住む人の幸せな生活をつくることではないかと思い至りました。



第一に、まちづくりには「縦のつながり」と「横のつながり」が大切だと考えました。旭のいいところの一つである、困ったときに助け合える「横のつながり」。そしてそれを子どもたちの世代につないでいく「縦のつながり」。つながることは、幸せ作りの第一歩だと思います。

そして、「楽しむ」ことの大切さ。人のため、地域のために頑張っても、つらいことは長続きしません。「無理せず、楽しく」も、幸せの大切な要素ではないでしょうか。

最後に、日本中で失われつつある「ご近所さんとの顔の見える関係性」が、旭地区では普通に存在していること、これは大きな強みであると考えました。互いに認め合い、支え合っている旭は、とても素敵です。

【めざす姿】

この計画のゴールである10年後に、旭地区の「ひと」「くらし」「まち」が、どういう状態になっていてほしいかを「めざす姿」として設定しました。

まずは「ひと」。暮らしを楽しんでいることはもちろん、人口が減って高齢者が増えていく社会では、少しお節介なくらいがちょうどいいのではないかと考えました。

そして、安全・安心な「くらし」を守るため、今後、住民同士の支え合いがますます大切になってくるでしょう。

最後に、旭の人には「住み続けたい」、外の人には「行ってみたい」と思われるような自慢の「まち」をめざします。

第2次旭地区まちづくり計画は、

SDGs（エスティジーズ）を推進します。



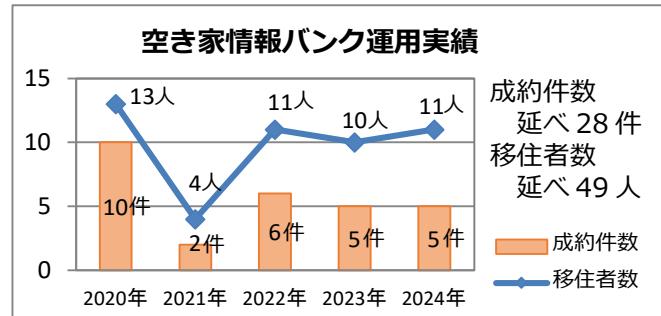
SDGsは、**Sustainable Development Goals**（持続可能な開発目標）の頭文字で、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、17の目標（ゴール）を定めています。豊田市は、SDGsの推進に積極的に取り組む自治体として、内閣府から選定されています。本計画は、17の目標（ゴール）のうち、「11 住み続けられるまちづくりを」と「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の2つをめざします。

第2次旭地区まちづくり計画前期計画の総括

前期 5か年の主な事業実績

■空き家情報バンク制度

地域の積極的な働きかけによる空き家の発掘や受け入れ体制の充実により、旭地区は、空き家情報バンクへの物件登録数・成約実績の累計共に、市内で最も高い結果となっています。



■地域課題解決事業*の活用

将来像の実現に向けて、地域課題解決事業の制度を活用し、重点的に取り組むべき課題解決の内容を検討し、事業化するなど、効果的な事業提案と事業実施を進めることができました。

*地域課題の解決策を、市の事業に反映させ、市と地域の共働で解決する仕組み

地域課題解決事業の例

- ・旭木の駅プロジェクト推進事業 (H24～)
- ・花の里づくり事業 (H25～)
- ・支障木の伐採支援事業 (H25～)
- ・あさひ高齢者見守り事業 (H26～)
- ・定住促進事業 (H28～)
- ・ツキノワグマ対策事業 (R4～)
- ・里山の景観保全支援事業 (R6～)

■わくわく事業

わくわく事業は、地域資源（人、歴史、文化など）を活用し、地域課題の解決や地域の活性化に取り組む団体を支援する制度で、旭地区ではこれまで、「防災・防犯」、「子育て支援」、「伝統文化や芸能の継承」、「地域の拠点作り」などさまざまな分野で、住民主体のまちづくりが進められています。

わくわく事業交付実績

項目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
交付件数	13 団体	11 団体	12 団体	13 团体	17 团体
内訳	新規	4 团体	2 团体	3 团体	5 团体
	継続	9 团体	9 团体	10 团体	12 团体
交付総額	4,813 千円	4,664 千円	6,593 千円	6,799 千円	8,979 千円

前期5か年の取組の検証結果

(1) 関係団体へのヒアリングによる検証結果

各種取組の実績や地域の状況、取組を実践している関係団体へのヒアリング結果などに基づき、各種取組の効果を4段階で評価した結果、23項目のうち19項目が「効果が出ている」「出始めている」、4項目が「効果が薄い」「効果が出ていない」という結果となりました。

これらの取組を、今後どのように継続し、あるいは変えていくかを考えていく必要があります。

取組分野	主な取組項目／検証結果（現状分析）・課題	有効性	方向性
1	移住・定住	定住支援策の推進：空き家情報バンクの登録物件が不足している。家を建て替えられる空き地の需要の調査も必要	○ ↑
		田舎暮らしの魅力発信：都市部の移住希望者への魅力発信	△ ↗
		仕事探しの支援：周知を図ることや内容の充実が必要	○ ↗
	子育て、学び・育ち	子育て環境の充実：支援制度は充実しているが実績が少ない	○ ↗
		子どものまちづくりへの参加：新たな地域教材・講師の発掘	○ →
		生涯学習の推進：交流館やつくラッセルでさまざまな講座を開催。住民の学びの場として有効利用する方策が必要	○ →
	健康づくり	健康寿命の延伸：交流館やぬくもりの里主催のイベントは継続的に行われている	○ ↗
		まちぐるみの健康づくりの推進：参加者の高齢化・固定化	○ →
	福祉	暮らしの不安解消：民生委員、包括支援センター、消防等関係機関との連携により支援体制が拡充。見守り活動は継続	○ →
		高齢者の外出促進：旭さんさんクラブは交流館やぬくもりの里で定期的に開催。里モビは車両の老朽化の問題がある	○ ↗
2	道路・交通、生活	幹線道路・生活道路の整備：自治区要望による道路整備を実施	○ →
		バスの利便性の向上：住民ニーズに即したバス運行の見直しや多様な手段の移動支援を検討する必要がある	○ ↗
		生活環境の整備：地域要望に基づき、柿の木伐採を実施。ツキノワグマ講習会の開催。移動販売車が定期的に運行	○ →
	防災、交通安全・防犯	防災活動の充実：防災マップ等による意識の向上。単身高齢者等の増加により、避難行動の遅延の可能性	○ ↑
		交通事故防止及び防犯対策の推進：住民による子どもの見守り運動や立哨活動を実施	○ ↗
3	産業（農林業・商業）	地域資源を活用した産業の育成：ブランド化認定の仕組み作りが必要。空き店舗の活用による商業活性化	○ ↗
		営農体制の整備と鳥獣害対策：遊休農地は増えているが、利活用は進んでおらず、獣害もみられており対策が必要	△ ↗
		森林保全と森林資源の活用：森づくり団地化と計画的な間伐	○ →
	観光・交流	観光事業の充実と情報発信：SNS等を活用した情報発信を実施。ダム酒や御城印の販売。インバウンドへの対応遅れが問題	○ ↗
		観光拠点の整備：上中のしだれ桃は維持管理が重要。旭高原元気村では、キャンプデッキや散策道の整備により集客を図る	△ ↗
		地域内外の交流による地域活性化：関係人口を増やすための交流イベント等の実施	○ →
	まち、歴史・文化	オールあさひの郷土愛醸成：旭中学校生徒がわくわく事業で旭の魅力を発信。げんき通信による地域資源等の紹介	○ →
		歴史・伝統文化の継承：旭の思い出アーカイブ作品の展示の実施。補助金活用による棒の手・打ち囃子団体の支援	△ ↗

※有効性4段階評価／○確実に効果が出ている、○効果が出始めている、△効果が薄い、×効果が出ていない
※今後の方向性評価／↑更に重点化、↗現状以上、→現状維持、↘縮小

(2) アンケート調査による検証結果

2024年度に、15歳以上の旭地区住民を対象としたアンケート調査を実施した結果、第2次旭地区まちづくり計画策定前（2019年）と比べ、現在の旭の姿に満足している人の割合は、多くの項目で「減っている」状況が伺えました。しかし、それぞれの取組の「重要度は高い」と考えている人が多く、目標とする3つのめざす姿に「近づいてはいないが、重要性は強く感じている」状態であるということが分かりました。

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

状態	現在の姿に満足していない(↖)が、重要性を感じている(→)	満足度		重要度	
		2019年	2024年	2019年	2024年
①子育て、保育のしやすい環境、雰囲気への満足度は下がっているが、今後若い世代を旭地区に呼び込むためにも、住民が互いに助け合う仕組みが重要である。	15.1% ↘	11.5%	36.9%	39.6%	↗
②移住定住対策に関しては、空き家の発掘、空き家情報バンクへの登録が重要であり、地域や定住委員等の協力が必要である。	26.7%	25.7%	34.8%	33.9%	↘
③自然は豊かにあるが、土砂災害や獣害の問題もあるため、安全に教育、保育のできる環境の必要性が高まっている。	20.8%	20.3%	30.7%	32.4%	↘

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

状態	現在の姿に満足しており(↗)、さらに重要性を感じている(↗)	満足度		重要度	
		2019年	2024年	2019年	2024年
①治山工事や間伐などが継続的に行われていることにより、洪水や土砂災害に対する安全性への満足度は高まっている。	5.7%	6.0%	45.7%	50.2%	↗
②今後はさらに高齢化が進み、独居の高齢者も増えていくことが予想されるため、安心して暮らすことができるための支援はより重要なとなる。	10.1%	13.2%	43.8%	49.0%	↗
③必要な医療・福祉サービスが受けられるよう、支援体制をこれまで以上に整えていくことが必要である。	10.0%	11.6%	42.9%	48.6%	↗

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

状態	現在の姿に満足していない(↖)が、重要性を感じている(→)	満足度		重要度	
		2019年	2024年	2019年	2024年
①鳥獣害が増えている原因のひとつに、遊休農地の増加がある。その利活用や、鳥獣害対策のための補助金のPRを行い、まちぐるみで対策する必要がある。	12.4%	9.3%	41.0%	46.1%	↘
②「旭木の駅プロジェクト」の活動は継続されているが、高齢化の問題もあるため、今後の活動が懸念される。	7.0%	6.0%	34.6%	39.7%	↘
③集落営農団体の取組が注目されるようになっているが、今後は担い手の育成も重要である。	8.5%	6.4%	34.6%	36.7%	↘

(3) 市民意識調査による検証結果

2019年度と2025年度に実施した市民意識調査結果を比較すると、ひとつの調査項目を除いて割合が減少しており、前期計画の取組分野にある「2025年にめざす姿」に近づいていないという結果となりました。一方で、旭地区が住みよいまちだと思う住民の割合は、「15.1ポイント増えている」という結果も出ています。

重点取組項目	取組分野	市民意識調査項目	2019年調査結果	2025年調査結果	分析
1	1	自治区・地域活動に参加している住民の割合	75.8%	68.4%	この5年間の市民意識調査の結果は全体的に下がっている。その中で、社会情勢の変化（コロナによる活動の自粛や環境変化による自然災害の増加など）により、地域住民の「防災」に対する意識は高まっている。
	2	児童生徒とともに地域の活動への参加の割合	35.4%	23.4%	
	3	適度に運動するか体を動かしている住民の割合	47.5%	42.3%	
2	1	近所づきあいに満足している住民の割合	80.8%	77.4%	この5年間の市民意識調査の結果は全体的に下がっている。その中で、社会情勢の変化（コロナによる活動の自粛や環境変化による自然災害の増加など）により、地域住民の「防災」に対する意識は高まっている。
	3	防災訓練に参加経験がある住民の割合	81.8%	86.4%	
3	3	居住地へ愛着を感じている住民の割合	83.8%	82.0%	
		旭地区が住みよいまちだと思う住民の割合	67.7%	82.8%	

検証結果から見る現状の問題点と課題

重点取組項目	①現状の問題点 各団体へのヒアリング、アンケート、市民意識調査の結果から抽出	②課題
1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化 ・人口流出 ・地域の担い手不足 ・移住者の受け入れ環境不足（空き家バンク物件数の不足） ・働く場が少ない ・子育て支援策の周知不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・旭地区の人口減少が進んでおり、さらなる移住の推進が必要である。 ・将来の地域の担い手を増やすためには、こどもを育てる環境を整え、地域内での雇用と就業機会の創出が必要となる。 ・自然環境を生かし、地域への愛着や誇りを持てるような地域と連携した教育が必要である。
2 安全に安心して暮らしつづけられるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害時の避難の不安 ・交通事故・犯罪に対する不安 ・移動手段が不便（病院、通学） ・買い物するところが少ない ・商店街の衰退と空き店舗増加 ・単身高齢者世帯の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な暮らしを続けるため、人口減少に伴う小規模集落への支援、生活を支える利便性の高い交通網の形成、災害や防犯対策等が必要である。 ・商店街の魅力が減少し、お客さん離れが進むことが予想されるため、商業が活性化されるような施策が必要となる。
3 美しさと魅力あふれるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の増加 ・森林の荒廃（土砂災害、獣害） ・獣害被害（農地、農作物） ・観光資源・まちの衰退 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源を生かした観光事業の充実による関係人口の創出、地域ならではの資源を活かしたブランド事業の推進等を図る必要がある。 ・いつまでも美しい景観を保つために、間伐や遊休農地の利活用、農作物を守るための鳥獣害対策を推進する必要がある。

まとめ

第2次旭地区まちづくり計画（2021-2030年）が策定された2020年以降、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変容や地域社会の関係性の希薄化など、予測不可能な社会情勢が続きました。前期5か年の取組を進めた結果、個別の課題も多く、総合的には目標に近づいていない状況です。しかし、地域への愛着に対する意識は82.0%（第25回市民意識調査2025年）と高く、また、まちづくりへの重要度は5年前より高まっています。これらを踏まえ、旭地区の将来像とその実現に向けた取組を議論し、後期5か年計画を策定します。

計画の全体像

基本構想

2021～30年（10年間）

基本理念

めざす姿

つながる、楽しむ、普通が素敵。だもんと、旭。



つながる

旭のいいところの一つである、困ったときに助け合える「横のつながり」を、子どもたちの世代にもつなげていきたいという思いを込めて。

楽しむ

苦しいこと、つらいことは長続きしないけど、楽しいことならがんばれる。「無理せず、生き生きと、暮らしを楽しんでいる姿」が、10年後の旭の姿だといいなという思いを込めて。

普通が素敵

ご近所さんとの顔の見える関係性が、旭では普通（当たり前）に存在しています。しかしそれは、豊田市、愛知県、ひいては日本全体で失われつつあることでもあります。

旭では「普通」だと思われている「横のつながり」が、失くしたくない素敵のことなんだという思いを込めて。

ひと



人とつながり、
暮らしを楽しむ。
少し世話焼きで、
人とまちを
大切に思うひと。

くらし



助け合い、
支え合う。
小さなまちならでは
の、ふれあい豊かで
いつまでも
安心できるくらし。

まち



訪れてみたい、
帰りたい。
これからもずっと
自慢したくなるような
美しいまち。



後期 5か年計画

2026～30年（5年間）

重点取組項目

重点取組項目 1

P12

気持ちが通り合う住民参加のまちづくり

若い世代や移住者が地域に定着し、地域の担い手が増え、皆がいつまでも健康で元気に暮らすことで、多くの住民が地域活動に参加できるまちを目指します。

取組分野

移住・定住

P13

子育て、学び・育ち

P14

健康づくり

P15

重点取組項目 2

P16

安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

地域住民が互いに支えあい信頼関係を築くことができ、安全で充実した生活環境が維持されることで、いつまでも安心して暮らし続けられるまちを目指します。

取組分野

福祉

P17

道路・交通、生活

P18

防災、交通安全・防犯

P19

重点取組項目 3

P20

美しさと魅力あふれるまちづくり

森林や農地などの山里が美しい景観を保ち、地域の伝統文化が継承され、一人ひとりが愛着と誇りを持つことで、「ずっと住み続けたい」と思える自慢のまちを目指します。

取組分野

産業（農林業・商業）

P21

観光・交流

P22

まち、歴史・文化

P23



重点取組項目 1

「氣」持ちが通い合う住民参加のまちづくり

旭地区では人口減少と高齢化が進み、地域活動の担い手不足が深刻化しています。今後も、地域外からの移住者の受け入れを進めながら、移住してきた人が地域に定着できるような交流や取組を地域活動への参加などを通して推進していく必要があります。

若い世代や移住者が地域に定着し、地域の担い手が増え、皆がいつまでも健康で元気に暮らすことで、多くの住民が地域活動に参加できるまちを目指します。

2030年にめざす状態

■「移住者、定住者を受け入れる雰囲気が地域にある」満足度（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

25.7%（2024年）

⇒ **30.0%（2030年）**

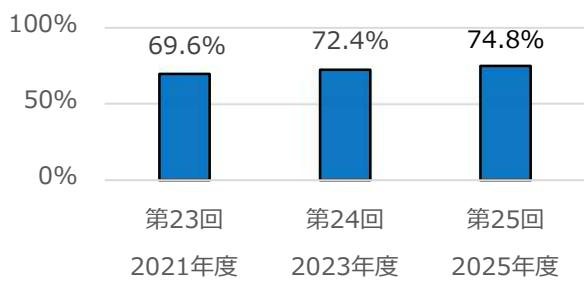
■「集落の維持に必要な地域活動が行われている」満足度（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

16.9%（2024年）

⇒ **20.0%（2030年）**

旭地区的現状

図1 地域への定住意向
(市民意識調査)



旭地区では、地域にこれからも定住し続けたいと思っている人が多くいます。直近の市民意識調査（図1）における地域への定住意向 74.8%（豊田市平均 65.5%）は市内第2位であり、地域への愛着から、ずっと旭で住み続けたいという方が多くいることが分かります。

一方、人口減少が進んでいく中で、草刈りなどの地域活動を維持していくた

めには、さらなる移住・定住の推進が必要となってきます。旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査（表1）の「今後力を入れるべき取組」では「子育て・保育環境」や「移住・定住者の受け入れ」の重要性が挙げられており、子育て世代をターゲットに魅力的な教育環境を地域ぐるみで作り出していくとともに、移住者の受け入れ体制を強化していくことが必要です。

表1 今後、力を入れていく取組の重要度が高い項目（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

子育て、保育のしやすい環境づくり	39.6%
移住者、定住者の受け入れ	33.9%
豊かな自然や地域資源を生かした学校などの教育、保育環境	32.4%

※重要度が「高い」、「やや高い」を合わせた割合

※後期5か年計画で新たに記載する取組は、**<新規>**を付けています。

取組分野1 移住・定住



（1）定住支援策の推進

①空き家の発掘【地域・行政】

定住担当者による空き家の発掘と所有者への交渉**<新規>**、

空き家一覧表の整理**<新規>**、空き家情報バンク制度による情報発信

②空き家所有者への支援【行政】

空き家所有者相談会**<新規>**、空き家改修補助金、空き家片付け補助金

③移住者への支援【地域・行政】

移住者交流会**<新規>**、空き家片付け補助金の対象者の拡充**<新規>**、

空き家活用支援事業、空き家改修補助金、山村地域等定住応援補助金

④家を建て（替え）られる用地の確保など環境整備【行政】

住宅建築に伴う農地活用に対する行政書士相談窓口の設置**<新規>**、

空き地情報バンク制度の運用

（2）田舎暮らしの魅力発信

①移住希望者増加に向けた情報発信及び支援【地域・おいでん・さんそんセンター・行政】

空き家見学ツアー**<新規>**、移住相談**<新規>**、SNSによる情報発信**<新規>**、

地元交流会の開催、エビネの里及び市営住宅入居者へのフォローオン体制づくり

②都市と農山村の交流による移住きっかけづくり【地域・おいでん・さんそんセンター】

関係人口を増やす取組**<新規>**、山里ひとなる塾**<新規>**、

農林業体験交流及びセカンドスクールの実施、企業と地域/団体のマッチング事業

（3）仕事探しの支援

①暮らしに合わせた仕事紹介システムの構築【団体・行政】

あさひ小仕事バンクによる求人情報等の掲載**<新規>**

具体的な取組事例

移住・定住地元交流会の開催

移住の促進や定住につなげるため、地域主催で、旭地区への移住希望者や移住してきた人との交流会を開催します。



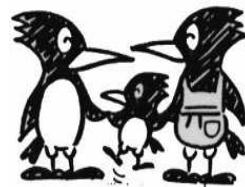
空き家見学ツアーの開催

空き家の活用と移住の促進につなげるため、空き家の見学や地域住民との交流会などの空き家ツアーを開催します。



※後期5か年計画で新たに記載する取組は、**<新規>**を付けています。

取組分野2 子育て、学び・育ち



(1) 子育て環境の充実

①子育て支援制度・施設の活用及び周知 【こども園・ぬくもりの里・交流館・行政】

読み聞かせ講座による親子交流**<新規>**、

こども食堂「リトルキッチンクラブ」の支援**<新規>**、放課後児童クラブ、

保健師による家庭訪問や健康相談、家事育児ヘルパー派遣制度、

ファミリーサポートセンター事業、子育て支援センター（杉本こども園）

②子どもの居場所づくりと交流の場の創出 【団体・交流館】

はねっこクラブの開催、あそびま NAVI、

すぎん工房まつり・ふらっと祭による住民同士の交流

(2) 子どものまちづくりへの参加

①学校・こども園と連携した子どものまちづくりへの参加 【学校・団体】

多文化交流の実践（小渡小学校）**<新規>**、学習発表（敷島小学校）**<新規>**、

各種地域イベントへの参加、まちづくり団体活動への参加、

わくわく事業「旭中サンライズプロジェクト」

②地域住民の学校教育への参加・協力と郷土学習の推進 【学校・地域・団体】

地域人材の発掘とコーディネート（学びあい本部）、

授業等での地域住民・活動団体の指導及び協力、郷土芸能の指導

(3) 生涯学習の推進

①学びの場の充実 【学校・地域・団体・交流館・行政】

旭中学校の地域住民への利用開放（学びあい本部）、交流館事業の実施、

具体的な取組事例

旭中サンライズプロジェクト

旭中学校の生徒が地域の活性化を目指して、仲間や地域の人々と共に働くながら、さまざまな課題の解決や取組を実践しています。



交流館事業の実施

地域に根ざした温かなコミュニティの形成に向けて、地域の住民が、健康や文化、歴史などを楽しく学びながら交流する講座などを実施しています。



※後期5か年計画で新たに記載する取組は、**<新規>**を付けています。

取組分野3 健康づくり



（1）健康寿命の延伸

①自分の健康状態を知る【地域・ぬくもりの里・交流館・行政】

若者・働く世代の健康チェック等による健康づくり啓発**<新規>**、

出前講座の開催や健康チェックの拡充（自治区・交流館講座）、

健康診査の受診勧奨の充実、地域ふれあいサロン参加者の体力測定

②規則正しい生活習慣や運動習慣の定着【交流館・行政】

ボッチャ・モルックの無料貸し出し**<新規>**、能楽師による呼吸法講座**<新規>**、

各種スポーツ教室・スポーツ大会の開催、

管理栄養士等による生活習慣病予防の啓発活動の実施

③歯と口の健康の推進【交流館】

歯科衛生士による歯と口の健康に関する出前講座の開催

④規則正しい生活習慣の定着【地域・学校・行政】

学校保健委員会活動や保健師による健康教室の実施、

保護者を対象にした生活習慣病予防に関する取組の充実

⑤認知症予防を目的とした学びの教室【新規】【ぬくもりの里・交流館・行政】

ぬくもり教室の開催**<新規>**、高齢者の体力づくり、転倒予防、

認知症予防を目的とした「元気アップ教室」

（2）まちぐるみの健康づくりの推進

①健康になるための活動ができる仲間や場所づくり【地域・ぬくもりの里・交流館】

健康づくり教室**<新規>**、地域ふれあいサロン・高齢者クラブ・交流館自主グループ活動等の継続実施と各関係機関と連携した事業の推進

②まちぐるみ家族ぐるみで推進する多世代参加の健康づくり【地域・ぬくもりの里・交流館】

ぬくもり参観日、旭＆朝日丘ふれあい交流事業、自治区行事、交流館講座の開催

具体的な取組事例

移動販売での健康チェック

移動販売と合わせて、血管年齢の測定や噛む力のチェックなどの健康測定を行うことで、住民の健康づくりをサポートします。



ぬくもり教室・ぬくもり参観日の開催

「認知症予防」や「介護」などをテーマに、脳トレ、栄養、体操など、楽しく輝きながら年を重ねられる講座「ぬくもり教室」の実施や、地域住民や利用者家族に施設を周知する「ぬくもり参観日」を開催します。



安

重点取組項目2

全に安心して暮らし続けられるまちづくり

高齢化が進む旭地区では、地域のつながりを活かした支え合い・助け合いが求められています。防災体制の強化や旭で安心して暮らし続けられる福祉サービスの整備などが、今後さらに重要になっていきます。

地域住民が互いに支えあい信頼関係を築くことができ、安全で充実した生活環境が維持されることで、いつまでも安心して暮らし続けることができるまちを目指します。

2030年にめざす状態

■「困ったときに助け合える近所付き合いが行われている」満足度（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

28.3%（2024年）

⇒ **30.0%（2030年）**

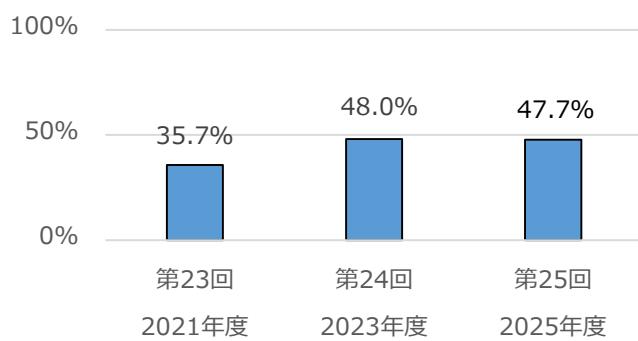
■「高齢者が安心して暮らすことができる」満足度（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

23.2%（2024年）

⇒ **25.0%（2030年）**

旭地区の現状

図2 近所とのつきあい
(市民意識調査)



旭地区では、高齢化率が上昇しているとともに、単身高齢者の数も増加しています。市民意識調査（図2）の「近所とのつきあいがどれくらいありますか」においては、市内平均16.7%と比較すると、旭地区の日常的なつきあいの割合は高い数値になっています。顔の見える関係性や日常的な見守り活動などの成果が表れた結果と言つていいでしょう。

また、旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査（表2）においては、「今後力を入れるべき取組」として、「災害への安全対策」や「高齢者が安心して暮らすことができる環境整備」が上位に挙がりました。有事の際や困りごとがあった際に、支え合い、助け合える関係性を築きながら、安全に安心して暮らし続けられる生活環境を維持することが必要になってきます。

表2 今後、力を入れていく取組の重要度が高い項目（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

洪水・土砂災害などの災害に対する安全対策	50.2%
高齢者が安心して暮らすことができる環境整備	49.0%
必要な医療・福祉サービスが確保	48.6%

※重要度が「高い」、「やや高い」を合わせた割合

※後期 5 か年計画で新たに記載する取組は、**<新規>**を付けています。

取組分野 1 福祉



（1）暮らしの不安解消

① 困りごとに対する相談・支援体制の確立 **【地域・ぬくもりの里・行政】**

しきしま支え合いシステム**<新規>**、相談支援及び関係機関との連携（ぬくもりの里、民生委員等）、第 3 次地域福祉活動計画事業の実践

② 地域ぐるみの見守り活動の充実 **【地域・団体・ぬくもりの里・行政】**

福祉特派員制度の PR 及び情報交換会の開催、豊田市ささえあいネット～高齢者見守りほっとライン～、ひとり暮らし高齢者登録、緊急連絡先カード・お困りカードの活用、安否確認旗活動（幸せの黄色いハンカチ運動の会）

③ 地域と連携した介護予防 **<新規> 【地域・ぬくもりの里】**

家族介護交流事業（介護者のつどい）

（2）高齢者の外出促進

① 高齢者の移動手段に関する困りごとの解決 **【地域・団体・ぬくもりの里・行政】**

住民共助の仕組みによる移動支援の実証実験**<新規>**、たすけあいプロジェクトの推進（たすけあいカー）、小型モビリティ「里モビ」の活用、自治区敬老会開催支援

② 高齢者のいきがいと居場所づくり **【地域・団体・ぬくもりの里・行政】**

旭さんさんクラブの開催、地域ふれあいサロンの開催、高齢者クラブ活動の継続、福祉農業実践プロジェクト（メグ友会）、老人福祉センターぬくもりの里（おしゃべりカフェ）、老人憩の家あさひ荘の管理・運営

具体的な取組事例

安否確認旗活動（幸せの黄色いハンカチ運動の会）

黄色い旗の出し入れを通じて、主にひとり暮らしの高齢者の安否確認や犯罪の抑止、認知症の早期発見などにつなげていきます。



住民共助の仕組みによる移動支援の実証実験

バス停まで行くことができず、バス等の公共交通を利用できないひとり暮らし高齢者等の移動を支えるため、地域住民自らがドライバーとなり、目的地まで送迎する実証実験を始めています。



※後期5か年計画で新たに記載する取組は、<新規>を付けています。

取組分野2 道路・交通、生活



（1）幹線道路・生活道路の整備

①県道、市道及び生活道路の整備促進【地域・行政】

通行支障木の伐採支援事業（高所作業支援・委託伐採）、各地区の期成同盟会による陳情（県道）、自治区工事申請書の提出（市道）、県管理道路における草刈り作業、市道及び河川における草刈り作業

（2）バスの利便性向上

①持続可能なバス運行の見直し【地域・行政】

利用状況の検証・運行見直し（停留所の増設、運行内容の見直し）、旭地域交通協議会での検討

②地域バスの利用促進に向けた検討・実施【地域・行政】

地域バス乗車特典の実施

③高校生等のバス通学にかかる費用の負担軽減<新規>【行政】

豊田市高校生等バス通学定期券購入費補助金<新規>

（3）生活環境の整備

①ツキノワグマ対策の実施【地域・行政】

ツキノワグマ講習会の実施<新規>、生活支障木（柿の木）の伐採支援事業

②買い物環境の向上【地域・企業・行政】

日用品の移動販売、個人宅配サービス

③生活環境の整備における作業効率化及び負担軽減【地域・おいでん・さんそんセンター・行政】

とよたの山里応援隊の活用<新規>、雑草刈機の貸し出し<新規>

具体的な取組事例

通行支障木の伐採支援事業

市道沿い等において、路肩の木竹の繁茂等により車両の通行に支障が出ている箇所について、枝払いや樹木の伐採等を実施し、生活道路の環境改善を実施します。



とよたの山里応援隊の活用

過疎化や高齢化により実施が難しくなった草刈り等の集落活動やその他のまちづくり活動に対して、ボランティアとして活動する意欲がある個人を登録し、山村地域の住民とともに保全活動や交流活動等を行っています。



※後期5か年計画で新たに記載する取組は、**<新規>**を付けています。

取組分野3 防災、交通安全・防犯



（1）防災活動の充実

①減災・防災意識の向上啓発【地域・団体・交流館・行政】

乳幼児がいる家庭向けの防災講座**<新規>**、防災訓練の実施、
自主防災会事業補助金の活用

②災害時の迅速な避難行動のための防災体制の推進【地域・団体・ぬくもりの里・行政】

雨量計の設置による降水量の測定**<新規>**、福祉事業間での災害時に関する意見
交換**<新規>**、災害時避難訓練の実施、災害時避難行動マニュアルの作成・周知、
避難行動要支援者情報の活用、防災マップ及びハザードマップの活用、
情報伝達手段の周知

（2）交通事故防止及び防犯対策の推進

①住民相互の交通安全・防犯活動の実施【地域・学校・ぬくもりの里・行政】

ご近所同士の声掛け・パトロール等の実施、登下校時の子どもの見守り活動、
交通安全立哨活動

②交通事故及び犯罪を防ぐための支援制度の活用【地域・行政】

防犯カメラ・防犯灯の設置、自主防犯活動物品支給制度の活用、
交通事故防止設備の整備（ガードレール、カーブミラー等）

具体的な取組事例

雨量計の設置による降水量の測定

旭地区内の20か所以上に簡易の雨量
計を設置し、雨量観測を実施。スマート
フォンを使った情報伝達を行い、大雨などの際に
地域住民自らが危険になる前に自らの
災害対応に結びつけられるようにする。



防犯カメラ・防犯灯の設置

子どもたちが学校から帰る際の安全対
策や犯罪の抑止のため、街灯がない道路
への防犯灯の設置
や、適切な維持・
管理を進め、地域
の安全を守ってい
きます。





重点取組項目3

しさと魅力あふれるまちづくり

旭地区の住民が、これからも旭に住み続けたいと思うためには、旭特有の美しい景観や伝統文化を守り、地域への愛着と誇りをもつことが大切です。合わせて、関係人口や観光客などとの交流を通し、旭の良さや魅力を再発見することで、地域に対する誇りを深めていく必要があります。

森林や農地などの山里が美しい景観を保ち、地域の伝統文化が継承され、一人ひとりが愛着と誇りを持つことで、「ずっと住み続けたい」と思える自慢のまちを目指します。

2030年にめざす状態

■「豊かな自然や地域資源を活かした学校などの教育、保育環境がある」満足度（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

20.3%（2024年）

⇒ **25.0%（2030年）**

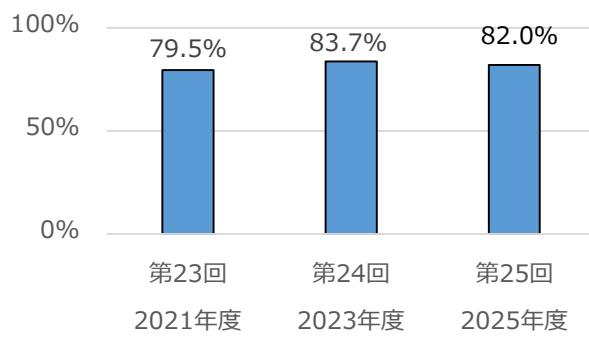
■「集落活動などにより、美しい農村景観が守られている」満足度（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

13.2%（2024年）

⇒ **15.0%（2030年）**

旭地区的現状

**図3 居住地への愛着
(市民意識調査)**



旭地区では、多くの人が居住地に愛着をもっています。直近の市民意識調査（図3）における82.0%は、市内平均77.5%と比較し約5%も高いことから、地域への誇りと愛着をもつ人が旭地区には多くいることが分かります。

また、旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査（表3）で「今後力を入れるべき取組」については、「農作物等を守るために必要な鳥獣害対策」や「森林資源の有効活用」、「田畠の適切な管理」が上位に挙がりました。旭地区の特産品であるお米を守ることや、健全な森林・里山の整備を行うことで、美しい景観も含めた地域資源の活用によるまちづくりが必要になってきます。

表3 今後、力を入れていく取組の重要度が高い項目（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

農作物等を守るために必要な鳥獣害対策の推進	46.1%
森林が健全に保全され、森林資源が有効活用	39.7%
営農体制の維持などによる、田畠の適切な管理	36.7%

※重要度が「高い」、「やや高い」を合わせた割合

※後期5か年計画で新たに記載する取組は、<新規>を付けています。

取組分野1 産業（農林業・商業）



（1）地域資源を活用した産業の育成

- ①地域通貨や特産品を活用した商業活性化【地域・団体・商工会・観光協会・行政】
御城印・矢作ダム貯蔵酒の販売<新規>、地域通貨（モリ券・商工会商品券）の発行、ブランド化による特産品の販売、自然薯等の6次産業事業支援
- ②地域の施設や土地、人材の有効活用による産業の活性化【団体・行政】
しきしまの家「ふらっと yui」の運営<新規>、空き家店舗活用補助金<新規>、空き地や空き施設への企業誘致・施設園芸等による利活用の検討、つくラッセルの有効活用

（2）営農体制の整備と鳥獣害対策

- ①集落営農の取組と担い手の育成【地域・団体・おいでんさんそんセンター・行政】
しきしまの家「自給家族」の運営<新規>、集落営農事業の推進、農地環境整備事業、農業体験の実施（セカンドスクール等）
- ②遊休農地の利活用【地域・団体・おいでんさんそんセンター・行政】
農地保全相談窓口<新規>、遊休農地を利用した赤蕎麦の栽培<新規>、農地バンク制度の活用、都市と農山村の交流・外部活力の活用（農業体験の実施）
- ③獣害対策の推進【行政】
獣害対策支援制度の活用（柵・ネット等の購入補助）

（3）森林保全と森林資源の活用

- ①健全な森づくりと森林資源の有効活用【地域・団体・行政】
家裏危険木伐採事業<新規>、森づくり会議の設置、森づくり団地化による間伐の推進、旭木の駅プロジェクト事業の推進
- ②各種活動団体と連携した木育・林育の推進【地域・団体・行政】
小中学校と連携した森林学習・間伐体験<新規>、ツリーハウスや遊具づくり等（あそびま NAVI）、森の健康診断・薪割り体験等（あさひ根っ子の会）

具体的な取組事例

矢作ダム貯蔵酒の販売

旭地区の観光資源でもある矢作ダム堤内に豊田市内4か所の酒蔵の吟醸酒等を貯蔵しています。矢作ダム貯蔵酒を使ったイベントなどを通じて、地域活性化を行います。



遊休農地の利活用

遊休農地になっている田畠について、わくわく事業などを通じて、地域団体等が主体で耕作等を行い、再生・利活用することで、新たな地域交流の活性化などにつなげます。



※後期5か年計画で新たに記載する取組は、**<新規>**を付けています。

取組分野2 観光・交流



（1）観光事業の充実と情報発信

①地域イベント等の情報発信【観光協会・行政】

旭観光協会等のHP・SNS等による情報発信、地域イベント等の窓口一元化

②観光客誘致策の推進【地域・商工会・観光協会・行政】

世界ラリー選手権開催支援**<新規>**、アジア競技大会の運営サポート**<新規>**、
旭マルシェの開催、地域資源の温泉や川を活用した誘致活動、
新たな体験プランの作成

（2）観光拠点の整備

①地域資源を活かした花の里づくり事業【地域・観光協会・行政】

観光及び経済の拠点となる小渡町及び 笹戸町を花の里として整備、
上中しだれ桃の維持管理

②旭高原元気村の活用促進【元気村・行政】

キャンプデッキエリア等を活用した誘客**<新規>**、
旭高原体験型プログラムの充実、散策道の再整備

（3）地域内外の交流による地域活性化

①交流事業による関係人口の増加【学校・交流館】

姉妹都市提携国等の外国人との異文化交流会（小渡小学校）**<新規>**

具体的な取組事例

SNS等による情報発信

InstagramなどのSNSやホームページなどを活用し、観光やイベント、地域の情報などを発信していくことで、交流人口や関係人口の増加を図っていきます。



キャンプデッキエリア等を活用した誘客

旭高原元気村に新設されたキャンプデッキエリアやトイレ・シャワー等の水廻り施設をPRし、キャンプ好きなどをターゲットに誘客を推進していきます。



※後期5か年計画で新たに記載する取組は、**<新規>**を付けています。

取組分野3 まち、歴史・文化



（1）オールあさひの郷土愛醸成

①地域情報の共有及び魅力発信 【地域・団体・行政】

SNSや動画による情報発信

あさひげんき通信を活用した各種取組・地域資源の紹介

（2）歴史・伝統文化の継承

①地域の歴史・文化財の保存 【地域・観光協会・行政】

旭郷土資料館作品の展示**<新規>**、各団体・町内会による歴史の振り返り

②郷土芸能、郷土食などの伝統文化の継承 【地域・商工会・行政】

ブランド化認定制度の創設**<新規>**

ブランド化による郷土食や特産品の販売

郷土芸能の披露の場（あさひまつり）

元気な愛知の市町村づくり補助金の活用による棒の手等保存会の支援

具体的な取組事例

あさひげんき通信を活用した各種取組・地域資源の紹介

旭に関わる行事やニュースなどを、地域の人が地域のことを知るツールとして、取材などを通して掲載していくきます。



旭郷土資料館作品の展示

旭郷土資料館の閉館に代わり、旭観光協会内の窓口で、旭地区の歴史的な文化財や当時の写真などの企画展示を行っています。



1	調査の概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査対象	1
(3)	調査方法	1
(4)	調査期間	1
(5)	回収結果	1
(6)	調査項目	1
2	調査結果	2
(1)	各設問の調査結果	2
(2)	旭地区のまちづくり全般について	9
(3)	旭地区の施設やイベントへの参加状況について	15
(4)	自由意見のまとめ	47

旭地区のまちづくりを考える
アンケート調査 結果報告書

令和6年10月
旭地域会議
豊田市

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第2次旭地区まちづくり計画の後期5か年計画策定に向けて、前期5か年計画を振り返り、現状を把握するための資料とします。

(2) 調査対象

旭地域に住む15歳（令和6年4月1日現在）以上（高校生以上）の全員2,136人及び旭中学校41人の全校生徒を対象としました。

(3) 調査方法

調査票は区長会を通じて、町内会長に配付。町内会長は各世帯（令和6年4月1日現在で15歳以上（高校生以上）の世帯人數分）へ直接配付していただき、回収も各世帯から町内会長、町内会長から自治区長へと直接回収していただきました。

中学生については、インターネット上のアンケートフォーム（Google Form）にて回答いただきました。

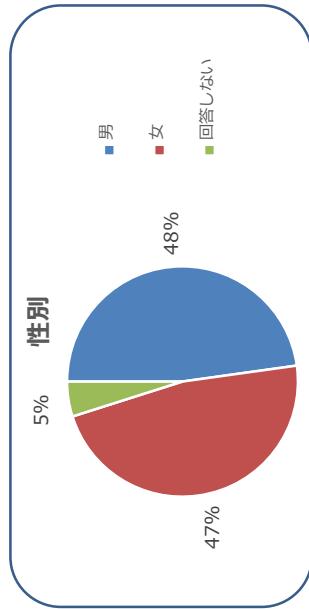
2 調査結果

(1) 各設問の調査結果

問1 あなたの性別は？

①全体 (単位：人)

	男	女	回答しない	総計
648	642	66	1,356	



②自治区別 (単位：人)

	男	女	回答しない	総計
浅野	138	144	11	293
小渡	99	104	8	211
笛戸	64	60	9	133
敷島	243	232	25	500
築羽	104	102	13	219
総計	648	642	66	1,356

(4) 調査期間

令和6年7月2日（火）から令和6年9月3日（火）まで

(5) 回収結果（中学生含む）

抽出数	有効回答数	有効回答率
2,177人	1,356人	62.3%

(単位：人)

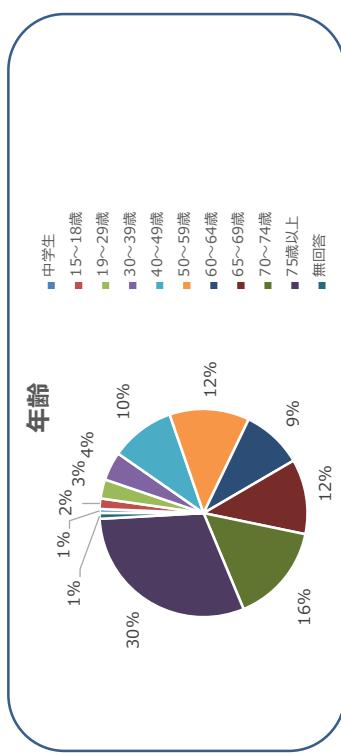
(6) 調査項目

- ①回答者の属性に関する質問 7問
- ②現在の生活環境に関する質問 29問
- ③今後力を入れていくべき取組に関する質問 29問
- ④利用または見学したことのある場所や施設に関する質問 1問
- ⑤参加または見学したことのあるイベントに関する質問 1問
- ⑥参加または見学したことのある伝統行事に関する質問 1問
- ⑦自由記載欄 1問

問2 あなたの年齢は？

①全体

	中学生	15～18歳	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	総計
9	22	40	60	137	168		
128	158	210	412	12		1,356	



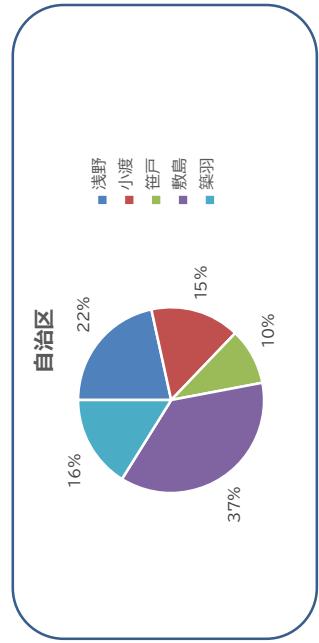
問3 あなたのお住まいの地区（自治区）は？

②

自治区別

(単位:人)

	浅野	小渡	笹戸	敷島	築羽	総計
293	211	133	500	219	1,356	



②自治区別

(単位:人)

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答	総計
浅野	36	31	51	91	1	293
小渡	19	28	27	84	0	211
笹戸	10	18	20	38	4	133
敷島	50	47	77	134	5	500
築羽	13	34	35	65	2	219
総計	128	158	210	412	12	1,356

問4 あなたの出生地（お生まれ）は？

①全体 (単位：人)

旭地区内		豊田市内 (旭地区以外)	豊田市外	無回答	総計
771	230	341	14	14	1,356



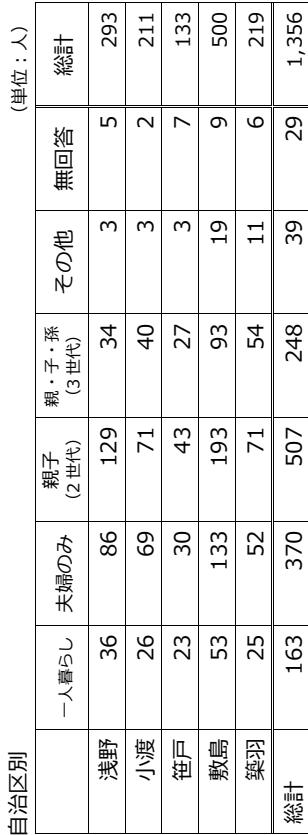
②自治区別

	旭地区	豊田市内 (旭地区以外)	豊田市外	無回答	総計
浅野	171	36	84	2	293
小渡	127	33	51	0	211
笛戸	79	19	32	3	133
敷島	268	100	128	4	500
築羽	126	42	46	5	219
総計	771	230	341	14	1,356

問5 あなたの家族構成は？

①全体 (単位：人)

①全体		一人暮らし	夫婦のみ	親子（2世代）	親・子・孫（3世代）	その他	無回答	総計
163	370	507	248	39	29	39	29	1,356



- 「その他」の内容（主なもの）
 - ・4世代…8件
 - ・兄弟姉妹…7件

問6 あなたの職業は？

①全体 (単位：人)

農林漁業	会社員等 勤め人	自営業 家族従業	パート/ アルバイト	学生 (中学生含む)	総計
87	296	119	252	35	1,356



②自治区別

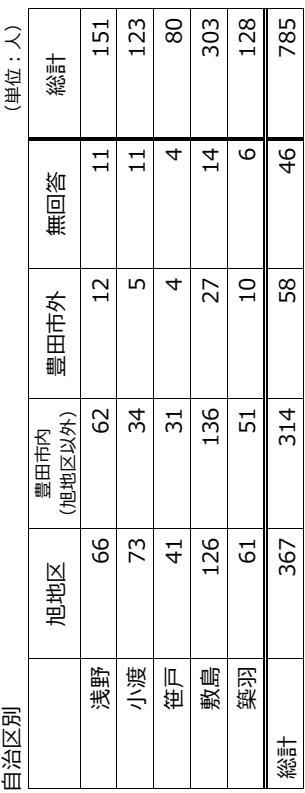
②自治区別 (単位：人)

	農林漁業	会社員等 勤め人	自営業 家族従業	パート/ アルバイト	学生 (中学生含む)	総計
浅野	10	59	17	59	6	151
小渡	12	38	39	29	5	123
笠戸	6	24	13	31	6	80
敷島	39	123	35	98	11	303
築羽	20	52	15	35	7	128
総計	87	296	119	252	35	785

問7 あなたの勤務地（通学地）は？（問6で1～5に該当のみ）※中学生除く

①全体 (単位：人)

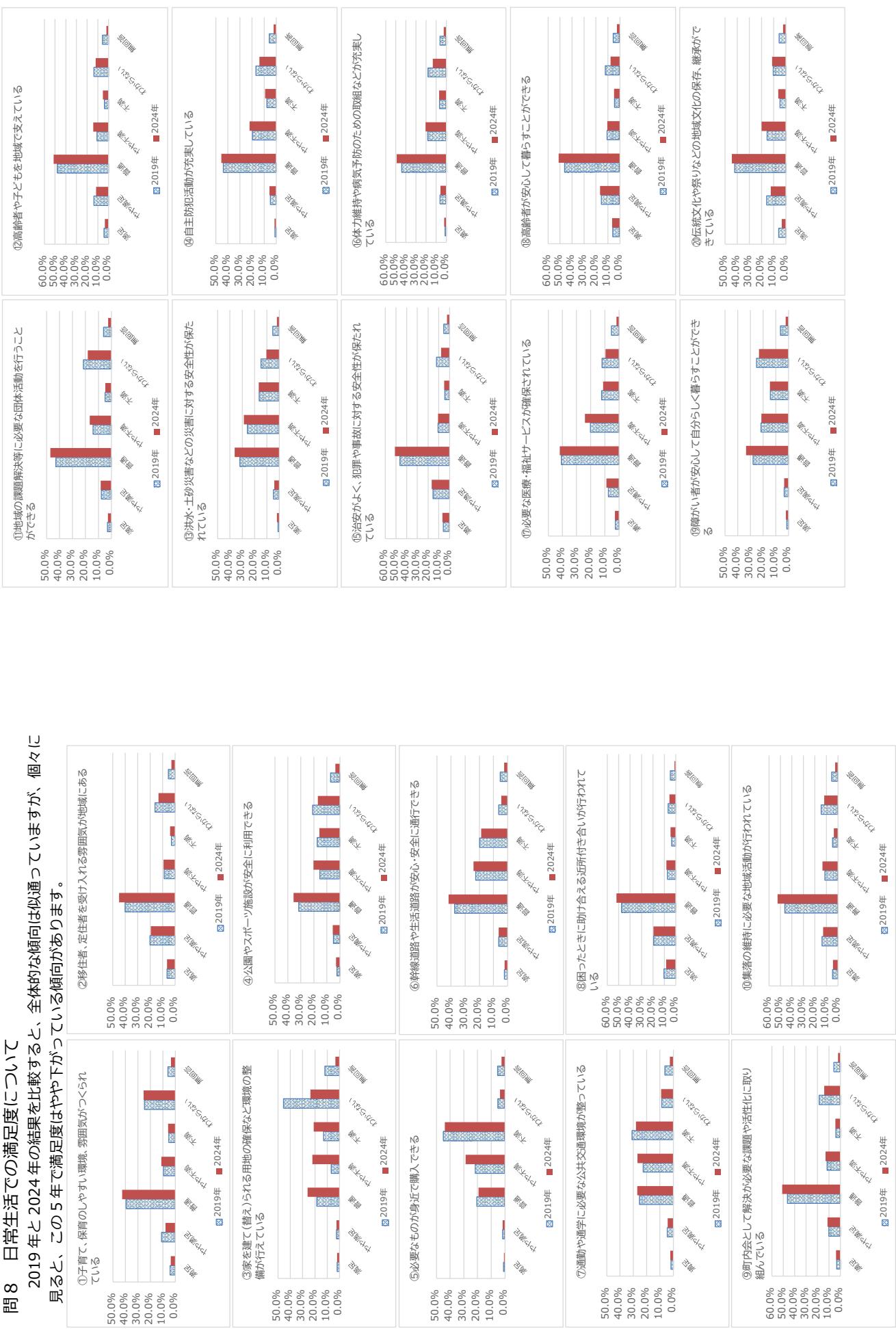
旭地区	豊田市内 (旭地区以外)	豊田市外	無回答	総計
367	314	58	46	785



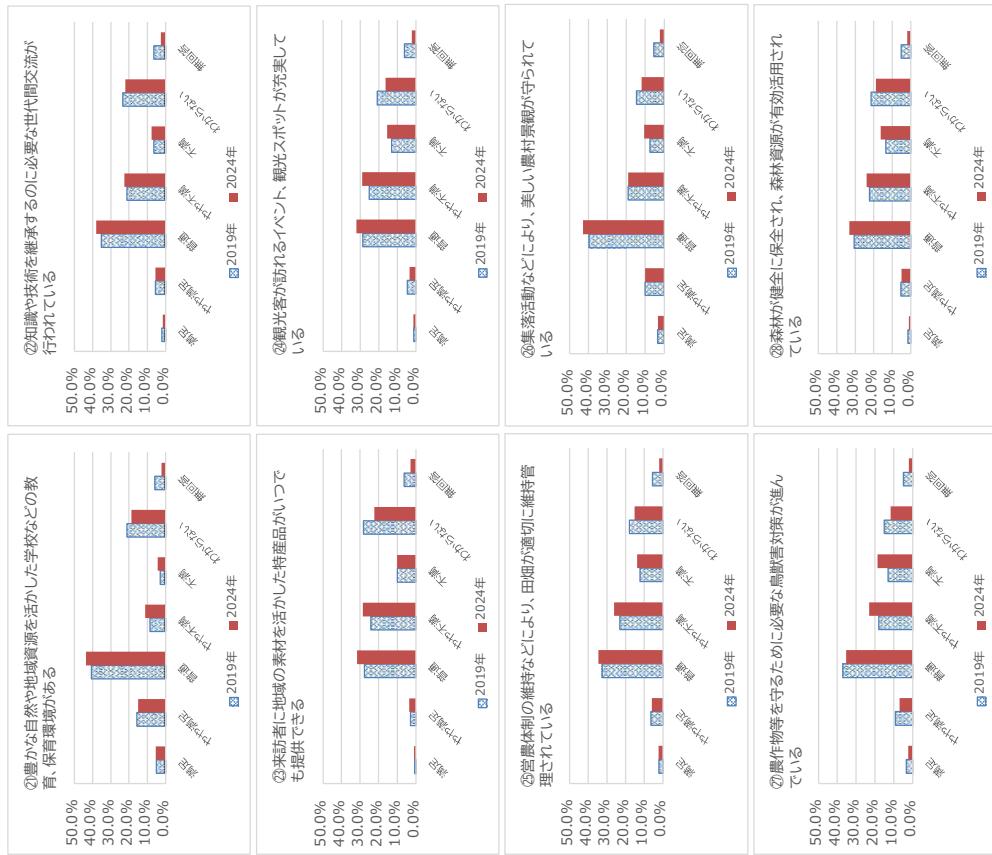
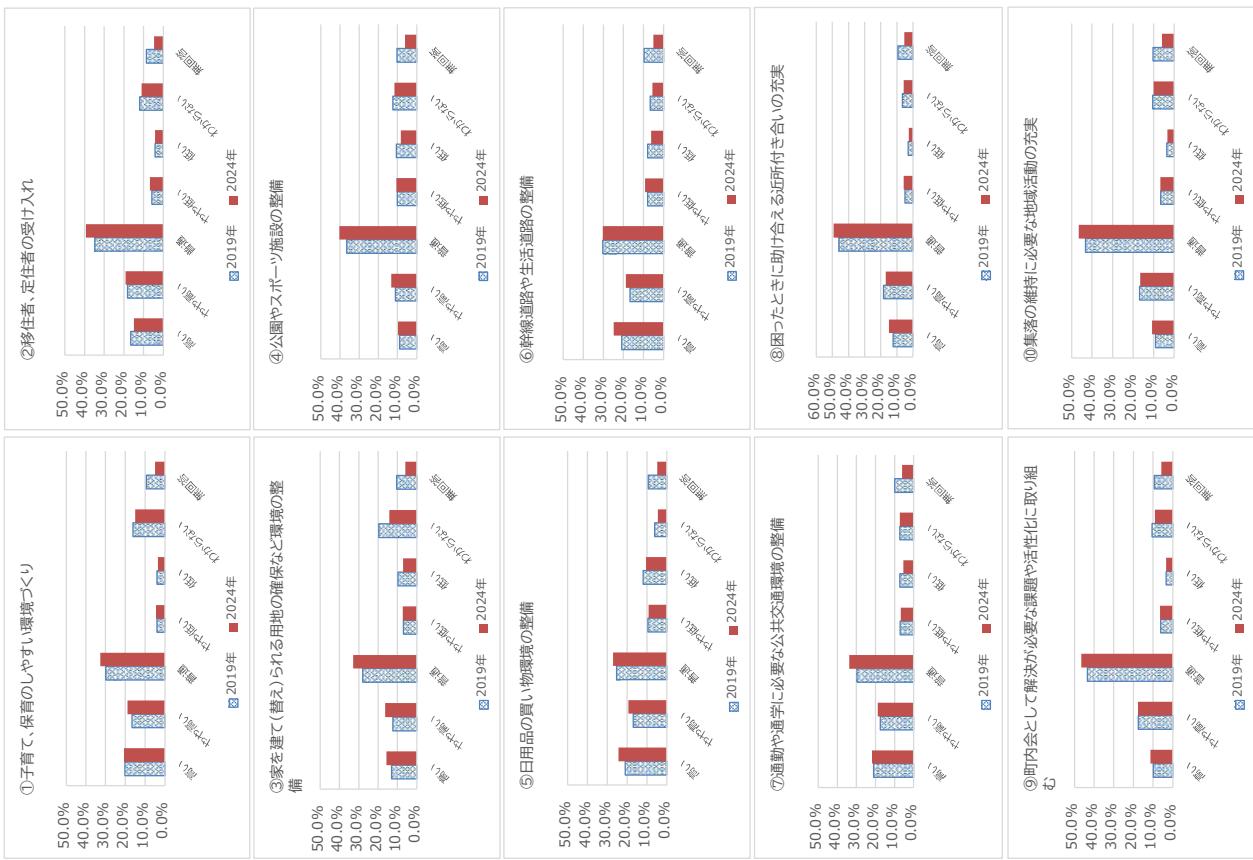
- 「その他」の内容（主なもの）
 - ・面親の介護
 - ・会社役員

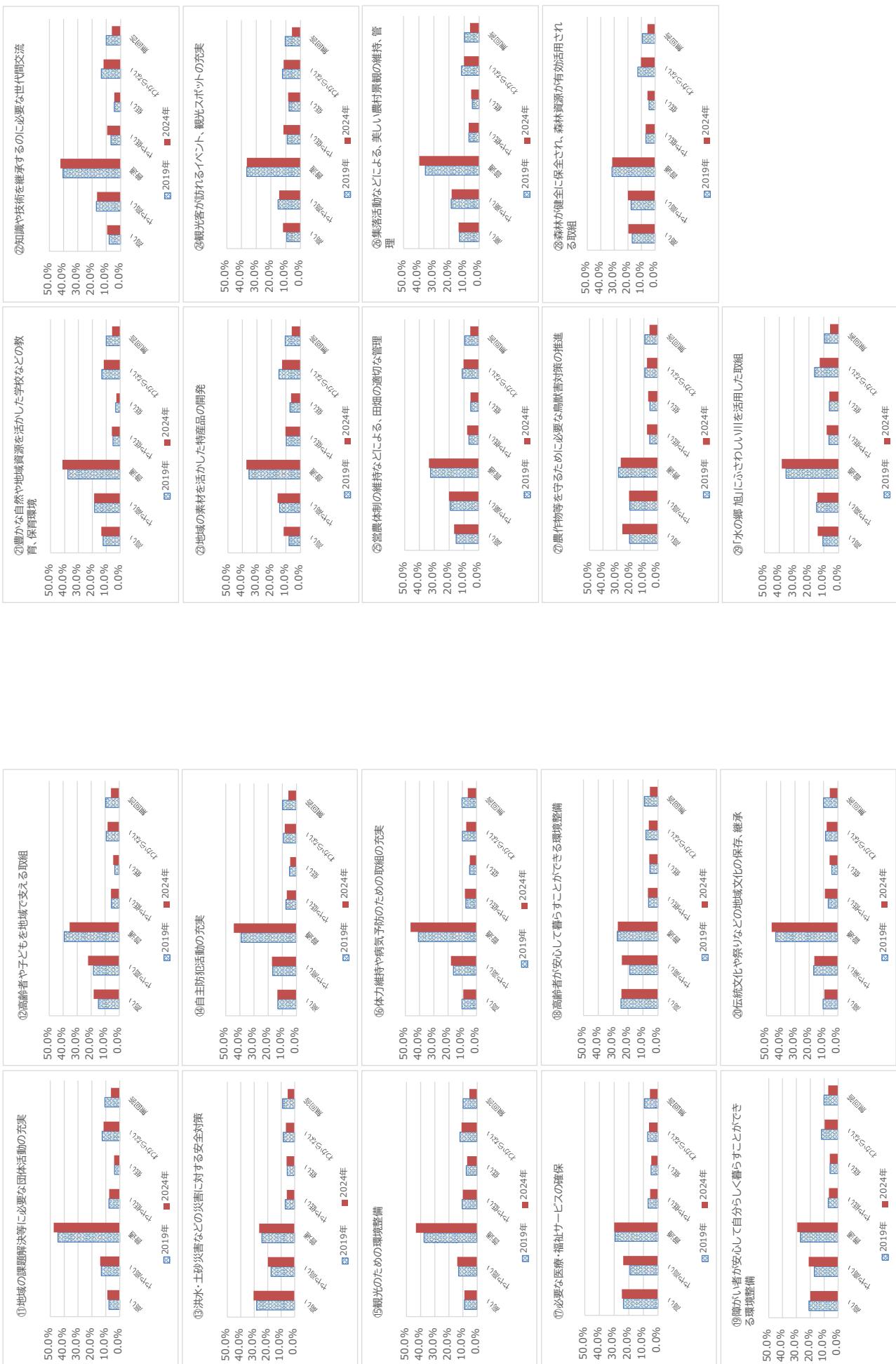
(2) 旭地区のまちづくり全般について

問8 日常生活での満足度について
2019年と2024年の結果を比較すると、全体的な傾向は以通っていますが、個々に見ると、この5年で満足度はやや下がっている傾向があります。



問9 今後、力を入れていく取組の重要度について
2019年と2024年の結果を比較すると、満足度と同様、全体的な傾向は似通っていますが、個々に見ると、重要度はやや上がっている傾向があります。



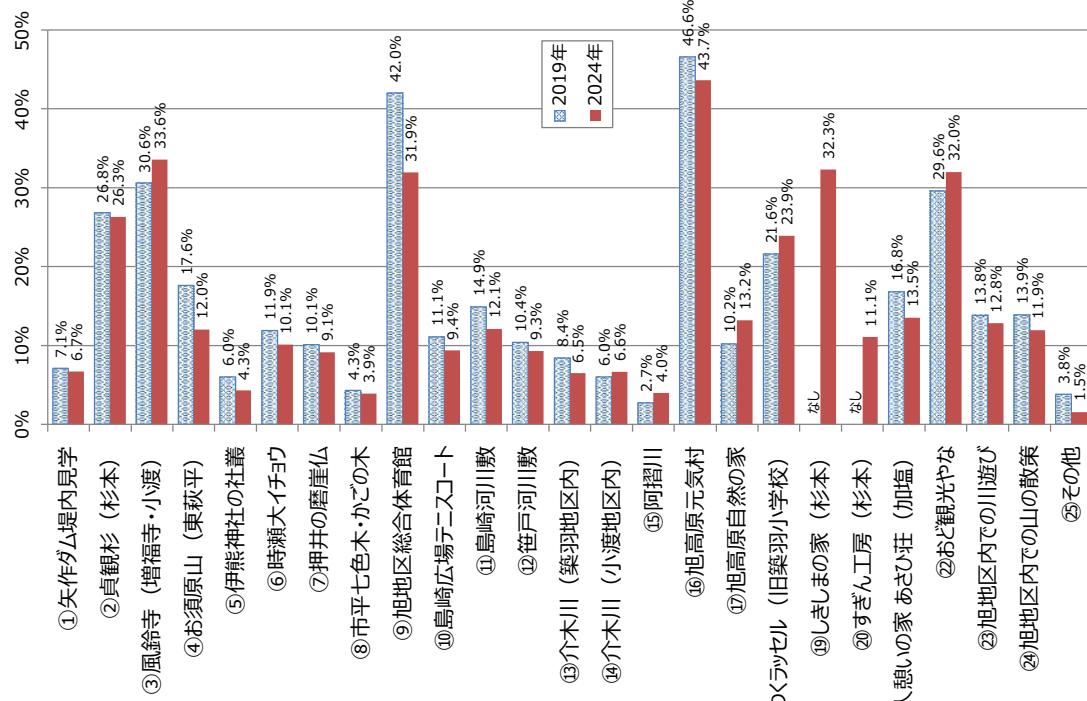


(3) 旭地区の施設やイベントへの参加（利用）状況について
 問10 最近5年間で利用や見学したことがある場所や施設は？
 地域住民が利用された場所や施設は、大きく変わりがありませんか、5年前にはななかつた施設の「しきしまの家」の利用が目立っています。

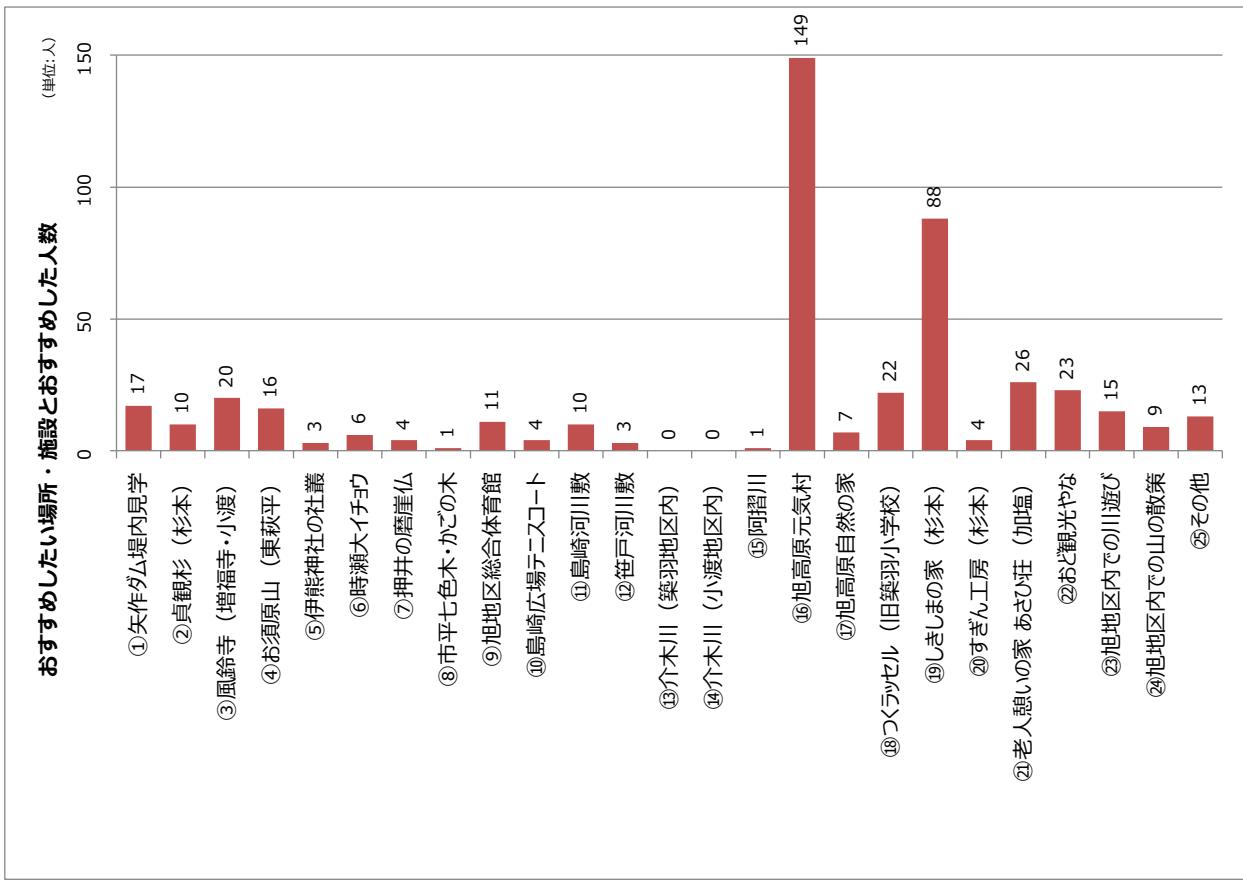
「その他」でご記入いただいた施設等

駒山(牛地町)、小馬寺の天然木見学	上中のしだれ桃
上中のしだれ桃	上中のしだれ桃
上中のしだれ桃	上中のしだれ桃
上中のしだれ桃	上中のしだれ桃
万町しだれ桃	万町しだれ桃
小渡城址	小渡城址
小畠のブルーベリー	小畠のブルーベリー
旭交流館	旭交流館
敷島会館	敷島会館
さくら村、こらっせる	さくら村、こらっせる
高能集落の権現さん	高能集落の権現さん
敷島会館、旭交流館	敷島会館、旭交流館
敷島会館、旭交流館	敷島会館、旭交流館
渓流荘	渓流荘
渓流荘	渓流荘
温泉、酒蔵、矢作川	温泉、酒蔵、矢作川
さくら村	さくら村
主要地方道沿線の山あい等の自然	主要地方道沿線の山あい等の自然
上中のしだれ桃	上中のしだれ桃

利用や見学したことがある場所・施設



おすすめしたい場所・施設と理由



おすすめする理由

おすすめ施設	理由
①矢作ダム堤内見学	一度は見学してみたい 堤高を 100mとしたアーチ形ダム(強固な地質地盤) 矢作ダムは内見学がしたい
②真観杉（杉本）	機会があれば行ってみたい 大きなダムだから 矢作ダムはゆるキャンでも出していたので、もっと宣伝するべき
③風鈴寺（増福寺・小渡）	豊田の水害の現状を知つて欲しい ダム好きが多いので、SNSなどで広めてほしい
④お須原山（東萩平）	世の中にダム好きな人が遙かにいるので 矢作ダムを多くの人に知つてほしい
⑤伊熊神社の社叢	愛知県無形民俗文化財に指定され、一見の価値あり 見学がするため
⑥時瀬大イチヨウ	見学したことばかりが、矢作川の水源であるから 夏に行くと涼しい
⑦押井の磨崖仏	行ったことがないから行ってみたい
⑧市平七色木・かごの木	外観も良いが、ダムの内部が見られたり、設備が見られたりできるので、勉強になるし楽しい！
⑨旭地区総合体育館	運べないくらいどこも好き
⑩島崎広場テニスコート	天然記念物
⑪島崎河川敷	貞觀寺から作った千年箸を使用してパワーをもらっている。毎日運動で前を通っている。
⑫毎戸河川敷	歴史を感じるので
⑬今木川（築羽地区内）	1000余年の風格・社殿と森との融合
⑭今木川（小渡地区内）	大きくて立派だから
⑮阿智川	近くにあり、見学してもよいと思う
⑯旭高原元気村	迫力ある巨木が壮观
⑰旭高原自然の家	年間を通じていつも風鈴が奉納できる。座禅、写経もできる。
⑲くらッセル（旧築羽小学校）	風鈴奉納
⑲しきしまの家（杉本）	心身が温やかになり、心が落ち着く場所
㉑すぎん工房（杉本）	この中では最もわかりやすい内容
㉒老人憩いの家 あさひ荘（加賀）	地元だから
㉓おど観光やな	旭の夏の風物詩にしていくべき。8月中旬に風鈴寺のお祭りをして縁日にすると良い。
㉔旭地区内での山の散歩	風鈴の音色と願掛けが素敵だと思う 住職さんが素敵
㉕その他	旭らしいで良いと思ったから。 風鈴祭で行きました 夏のいい雰囲気、癒しになる 風鈴の音が心地よい 風鈴がキレイ、風鈴まつりがある。

季節を感じ、心が和む 涼しさが味わえる「風鈴」に願掛けができる珍しさ。 鳳鈴を作れたりするので良い	テニス楽しいよ(^-^) 体力づくり とてもきれいなコートで使いやすいから
夏の行事でにぎわいがあつて良い	屋外の運動施設
④お須原山(東秋平)	①島崎河川敷 想像以上に、見の価値があつた 景色が素晴らしい 気持ちがいい 選べないくらいどこも好き 景観が良く、来てよかつたと思える場所だから。 眺めが良い 整備されて、見晴らしも良い 健康づくり
お須原山の頂上からの景色が美しいから 縁結びの穴を通すのが難しくて楽しかった 心癒される気持ちのいい場所だから 景観の良さ 景色がきれい	川遊びやテニスができるところが良いとこです。 子供の川遊び 広々として気持ちが良い。が、入れないところがあること、河川敷が草だらけなのが残念。 春になると広々とした場所でピクニックできて良い。理由があつてされていると思うが、立入禁止が残念な感じがある。 さんまがたのしかつた。こいのぼりがきれい 散歩にちょうどいい 水の鄉 旭を一番体感してもらえる立地なので、5月-8月のようないきれいのある状態を通年に披げていけるといいと思う
高台で360度見晴らせる。道路の整備が必要。	BBQ 利用したが、今は閉鎖に。ルールや使い方をきちんと明示した上で、有料化しても BBQ やキャンプがまたできるようになれば、地域を活かせいいのでは、と思う。 島崎河川敷は川遊びが安全にできそだから 景色が良い 静かでのんびりできまる。トイレが無いのが残念。
動物の特異性が見られるところ 自然の大切なことがわかる 案内看板が少ないので設置されるとよい	景色が良い 空が広くて開放感がある そこしか知名度がある場所がない 綺麗 そこかでんびりできまる。トイレが無いのが残念。
⑤伊熊神社の社叢 自然の大切なことがわかる	⑥旭高原元気村 豊田市外の友達が来たから 案内看板が少ないので設置されるとよい 迫力ある巨木が壮观 秋は絶景 イチヨウが立派 珍しい物があり、旭高原に行く途中に立ち寄つてほしい。 県内でも珍しいものなのに、あまり知られていないため 面白くて大きい木
⑦押井の樟崖仏 市平七色木・かこの木	中が広く、体を動かしたい人や部活動で使いたい人が広々と使えるから 他のスポーツを行う施設よりも利用料が安いから 観客席のある体育館は少ない 体育館は他の地域からの利用者も多く、使いやすい施設であると思う いろいろな活動ができるので 手堅に利用できる 芭戸和太鼓を利用した 利用しやすい スポーツは良い
⑧旭地区総合体育馆 市平七色木・かこの木	川遊びやテニスコート WRCでの知名度

子供が餓きずにソリ滑りができた。大人も十分に楽しめる。	旭高原があまり行ったことないが、家族連れで夏はBBQ、冬はソリかでできるし楽しめる場所だと思う	広々とした最高の景色。大勢の人たちが来られるよう宣伝、呼びかけをしてほしい。	小中学生に星空観察やソリ滑り体験を経験してもらうと良い	知名度があるので、更にイベント等追加できること良い。集客になる。	多種多様な施設がある	幼い子でも遊べるので良い。もっと作ってほしい	森林浴にもつてこい。山々の緑と自然。年中楽しめると思うが、道路が狭いのが不満。	一年中楽しめる	町内の観光施設
自然に子供から大人までふれあえる場所 旭らしい場所	自然豊かな動物園:小動物とふれあうことができる	夏季、冬季ともに大人も子供も楽しむことできる場所だから	動物とふれあうことができるから	自然豊かでのんびりできる	国道から現地までの樹木の管理、道路整備、高原道路周辺の杉、檜、雜木の伐採、見晴らしをよくする(30~40年前のよう)	1年を通して楽しめる施設あり	子供といいっぱいな施設だと思う	ソリスキー	ソリスキー
子供といい遊びすると楽しい	一番、「旭といいっぱいな施設だと思う	幅広い層いろいろ楽しめる。日常から解放され、自然の中で心が洗われる。	既に大金が投入されていて一年中活用されて欲しい	自然の中での散策	施設が充実している	自然が豊かだから	春夏秋冬、BBQなど泊りに最適。冬のソリ滑り、屋台で食べるラーメンなどがうまい。	旭地区的観光の主力だから	旭地区的観光の主力だから
プランコが楽しい	プランコが楽しい	子供が遊べる施設があり、牛を見ることができる(馬、ヤギ等)	既に大金が投入されていて一年中活用されて欲しい	自然の中での散策	施設が充実している	自然が豊かだから	春夏秋冬、BBQなど泊りに最適。冬のソリ滑り、屋台で食べるラーメンなどがうまい。	自然が豊かだから	自然が豊かだから

一番の観光スポットではないか	子供が楽しめる	今後の旭地区的観光スポットとして知名度が高い	動物このふれいや滑り台などの道具があり楽しい。キャンプやBBQ、星も綺麗なので、どの世代の方にもオススメ。	小さい子供を遊ばせることができる	避暑地の充美	景色が美しい。空気がいい。	子供の遊び場が充実している	観光客にも人気で、夜は星が綺麗涼しい	売上に貢献してほしいから
旭地区内で知名度が高い	大人も子供も遊べる	春の散策、冬のソリ滑り	旭高原から下を見た風景がとてもすばらしいと思う	キャンプなど野外活動をしやすい	自然がとても良いと思う。設備の充実化もしているので、または非利用したい。	自然がとても良いと思う。設備の充実化もしているので、または非利用したい。	自然の豊かさと景観利用者が多い	自然豊かな雰囲気が味わえる。ゆっくりと時が流れれる感覚がある。	旭地区内で知名度が高い
冬、百名山のうちの3つ白山、御嶽、恵那山)が見えるところはあまりないと思う。	旭の地名が入っており、一般の方でも利用しやすいため	手軽に行ける。牧場やグレンデ、ウォーキング施設、食堂など完備されているので、十分楽しめる	施設が充実	設備が整っている	ある程度楽しめる	家族で利用できる	雪色が良く、空気がおいしいから	いろいろなイベントがある	旭で一番広くてきれいだから
都会人に素敵な環境	都会人に素敵な環境	市外の人からも知られていてアピールしやすい。温泉があるとよい。	自然豊かで楽しいから	自然豊かで楽しいから	自然豊かで楽しいから	自然豊かで楽しいから	自然豊かで楽しいから	大人から子供まで美しい山々の中で一日ゆっくり遊んでいける場所。夏は涼しく心が洗われる	大人から子供まで美しい山々の中で一日ゆっくり遊んでいける場所。夏は涼しく心が洗われる
子供と一緒に楽しむ	自然豊かで楽しいから	子供と一緒に楽しむ	自然豊かで楽しいから	自然豊かで楽しいから	自然豊かで楽しいから	自然豊かで楽しいから	自然豊かで楽しいから	自然豊かで楽しいから	自然豊かで楽しいから

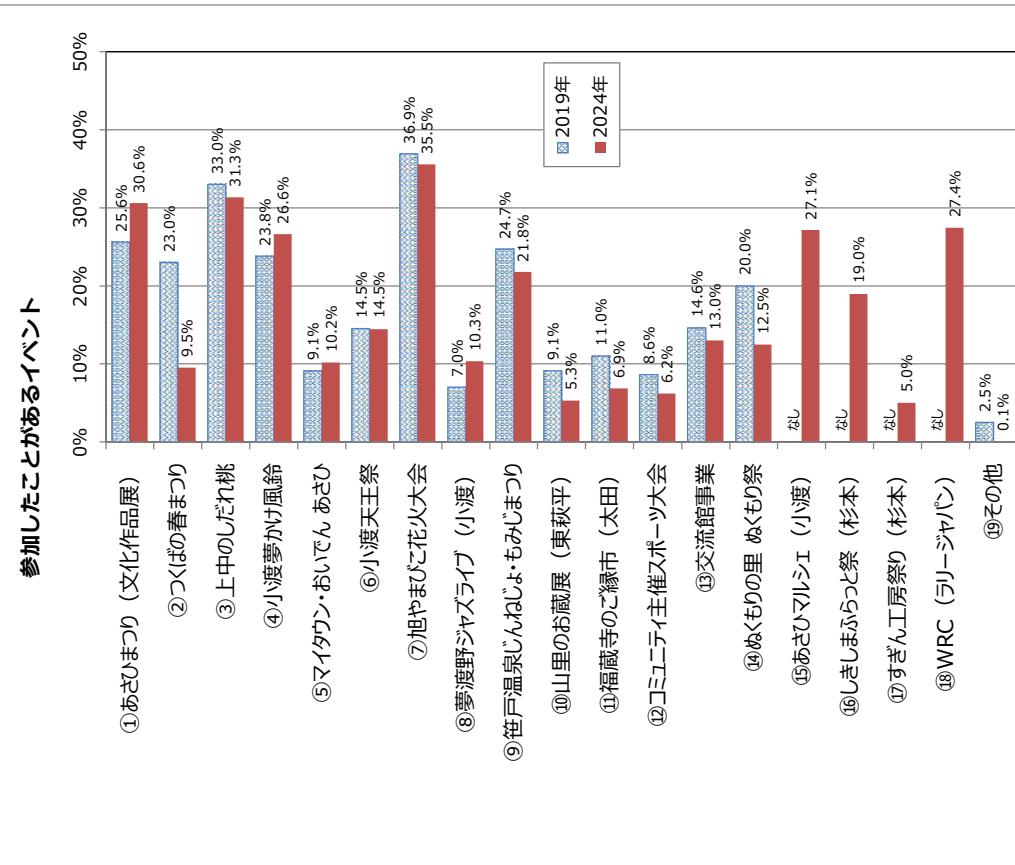
BBQや道具があり、子供から大人まで楽しめるから 自然に触れ合える 夏でも朝夕涼しく、自然に触れるができる	世界ラリー選手権 WRCで知名度が上がってきたので、1年を通していつも来てくれる場所にするべき	雪そり 観光地らしい場所 旭地域のシンボルとなるとよい	楽しいから 観光スポットが充実しているから 星がきれい 自然が豊か さわやかで景観が良い 景色がきれい、散策すると気持ちがいい。	一年を通して子供に人気がある ラリーなどで盛り上げてほしい 景色も良く、もっと活気が出てもよいところだと思うから 景色が良い	景色が良い。ドッグランができた。 幼児、低学年くらいの子が長い滑り台等の遊具で楽しく遊べる もっと遊べるものがあれば、更に良い	旭といつたら旭高原だから 子供が遊べる 年間を通して楽しめる	楽しめる要素がたくさんあるから	旭地区において最も外からの利用が多く、そり遊び、各イベントに加えて風景のすばらしさなど、一日のんびりできるところだと思う。友達を誘つても十分楽しんでもらえる場所だと思う。	ここ以外におすすめできる場所はない	観光客にも人気で、夜は星が綺麗	観光施設だから 星がキレイ	美しい自然がある 旭の中でも景色が良い
BBQや道具があり、子供から大人まで楽しめるから 自然に触れ合える 夏でも朝夕涼しく、自然に触れるができる	世界ラリー選手権 WRCで知名度が上がってきたので、1年を通していつも来てくれる場所にするべき	雪そり 観光地らしい場所 旭地域のシンボルとなるとよい	楽しいから 観光スポットが充実しているから 星がきれい 自然が豊か さわやかで景観が良い 景色がきれい、散策すると気持ちがいい。	一年を通して子供に人気がある ラリーなどで盛り上げてほしい 景色も良く、もっと活気が出てもよいところだと思うから 景色が良い	景色が良い。ドッグランができた。 幼児、低学年くらいの子が長い滑り台等の遊具で楽しく遊べる もっと遊べるものがあれば、更に良い	旭といつたら旭高原だから 子供が遊べる 年間を通して楽しめる	楽しめる要素がたくさんあるから	旭地区において最も外からの利用が多く、そり遊び、各イベントに加えて風景のすばらしさなど、一日のんびりできるところだと思う。友達を誘つても十分楽しんでもらえる場所だと思う。	ここ以外におすすめできる場所はない	観光客にも人気で、夜は星が綺麗	観光施設だから 星がキレイ	美しい自然がある 旭の中でも景色が良い
BBQや道具があり、子供から大人まで楽しめるから 自然に触れ合える 夏でも朝夕涼しく、自然に触れるができる	世界ラリー選手権 WRCで知名度が上がってきたので、1年を通していつも来てくれる場所にするべき	雪そり 観光地らしい場所 旭地域のシンボルとなるとよい	楽しいから 観光スポットが充実しているから 星がきれい 自然が豊か さわやかで景観が良い 景色がきれい、散策すると気持ちがいい。	一年を通して子供に人気がある ラリーなどで盛り上げてほしい 景色も良く、もっと活気が出てもよいところだと思うから 景色が良い	景色が良い。ドッグランができた。 幼児、低学年くらいの子が長い滑り台等の遊具で楽しく遊べる もっと遊べるものがあれば、更に良い	旭といつたら旭高原だから 子供が遊べる 年間を通して楽しめる	楽しめる要素がたくさんあるから	旭地区において最も外からの利用が多く、そり遊び、各イベントに加えて風景のすばらしさなど、一日のんびりできるところだと思う。友達を誘つても十分楽しんでもらえる場所だと思う。	ここ以外におすすめできる場所はない	観光客にも人気で、夜は星が綺麗	観光施設だから 星がキレイ	美しい自然がある 旭の中でも景色が良い
BBQや道具があり、子供から大人まで楽しめるから 自然に触れ合える 夏でも朝夕涼しく、自然に触れるができる	世界ラリー選手権 WRCで知名度が上がってきたので、1年を通していつも来てくれる場所にするべき	雪そり 観光地らしい場所 旭地域のシンボルとなるとよい	楽しいから 観光スポットが充実しているから 星がきれい 自然が豊か さわやかで景観が良い 景色がきれい、散策すると気持ちがいい。	一年を通して子供に人気がある ラリーなどで盛り上げてほしい 景色も良く、もっと活気が出てもよいところだと思うから 景色が良い	景色が良い。ドッグランができた。 幼児、低学年くらいの子が長い滑り台等の遊具で楽しく遊べる もっと遊べるものがあれば、更に良い	旭といつたら旭高原だから 子供が遊べる 年間を通して楽しめる	楽しめる要素がたくさんあるから	旭地区において最も外からの利用が多く、そり遊び、各イベントに加えて風景のすばらしさなど、一日のんびりできるところだと思う。友達を誘つても十分楽しんでもらえる場所だと思う。	ここ以外におすすめできる場所はない	観光客にも人気で、夜は星が綺麗	観光施設だから 星がキレイ	美しい自然がある 旭の中でも景色が良い

地域の人との交流	
出会い	取り組み内容が先進的 進んだ取り組みだから
活気がある。月1のイベントで、子供から高齢者の方までたくさん集まり、地域の交流としても良い。飲食できるのも良い。	近くで行きやすく、皆と会える ランチが美味しかった
今、一番盛り上がっている、活気あふれる施設だと思う。	古い建物を再利用しているから
交流が持てる	おいしいごはんが食べられる。たくさんの人と交流できる。 ランチなどおすすめ
食事が美味しいから	地域活性を実感できるから
多くの人が集まり、情報が増える	他にないから
地域の新しい集える場所	もつと多くの人に利用してもらいたい 地元で行っているので
いろいろな人が集まるれる場所だから	めし美味しい。
気温に入ることができる、場所が狭かしさもあり、もっと認知されてしまい。	ランチや祭りなどもやついて、子供から高齢の方まで誰でも楽しめるから ゆっくり落ち着ける場所、皆さん優しい方達
料理がおいしいのと種類いろいろあるのでよい。ぶらつと祭になればいろいろな人が来るの	飲食ができ、地域の人が気軽に利用できる場所
で交流もできる。	いつも地元の方が集っているので 地元住民が主体的に活動しているところ
がんばっている(取り組み)	ふらっと祭に行くと、久しぶりに地域の人と会えてうれしい 運べないくらいどこも好き
飲食環境はすばらしいから(美味しいから)	体に安心、おいしいお菓子が買えるから おいしいおやつが食べられる。たくさんの人と交流できる。
世間話	お菓子がおいしい子供が喜ぶので
新しいことに挑戦しているため。変化を楽しみにしている	②老人憩いの家 あさひ荘(加古川)
すごくキレイになつて、ごはんも美味しい	高齢者などがゆっくり過ごせる 温泉の湯が良い
まだ行ったことがないという方がいた。子供から高齢者まで楽しめる。	お湯がとてもよく、のんびりできる あさひ荘の湯がいい
近くで気軽に立ち寄れる。	泉質がとても良く、温泉に入った気がして体にも良いと思い、回数を多くして利用したい 旭町近隣で泉質が一番というわざ
今後、発展してほしいから	お風呂に入つてゆっくりできる。1日のんびり反対ができるので 水質がよい。子供に。
人と人が集まり、おしゃべりと食事ができることが良いと思う	泉質が良く気持ち良くて、肌にいいから。ただ、アニメティがなく、脱衣所も狭いのが残念。 泉質がとても良いと感じている
地域の未来を一番考えている	お湯が良く、施設もきれいでゆっくりできる 温泉
世代間交流ができる。集まりやすい。	ゆっくり一日休むことができる。近場でいい湯に入れることと、山の湧水を汲むこともできるから。 運営者の考え方と共に共感できる
いろいろと食べ物もあり、仲間と話し合うには最高の場所だとと思う	ランチが美味しい 楽しい一時が過ごせるから
しきしま yui は大好き。おいしくて働いておられる人も元気で明るい人ばかり、また行きたくなる	
人が集まりやすく、交流ができるため	
食事が美味しい、	
旭シネマスコープの月1映画上映会	
アットホームで居心地が良い	
料理が美味しいくて、ここに行く近所の方たちが集まつており、いろいろな方と交流できる	
ゆっくり安らぐ時間が得られる場所	
ごはんが美味しい	
一人暮らしのため、昼食などの活用	
役割が増えているといつてほしい	
運営者の考え方と共に共感できる	
ランチが美味しい	
楽しい一時が過ごせるから	

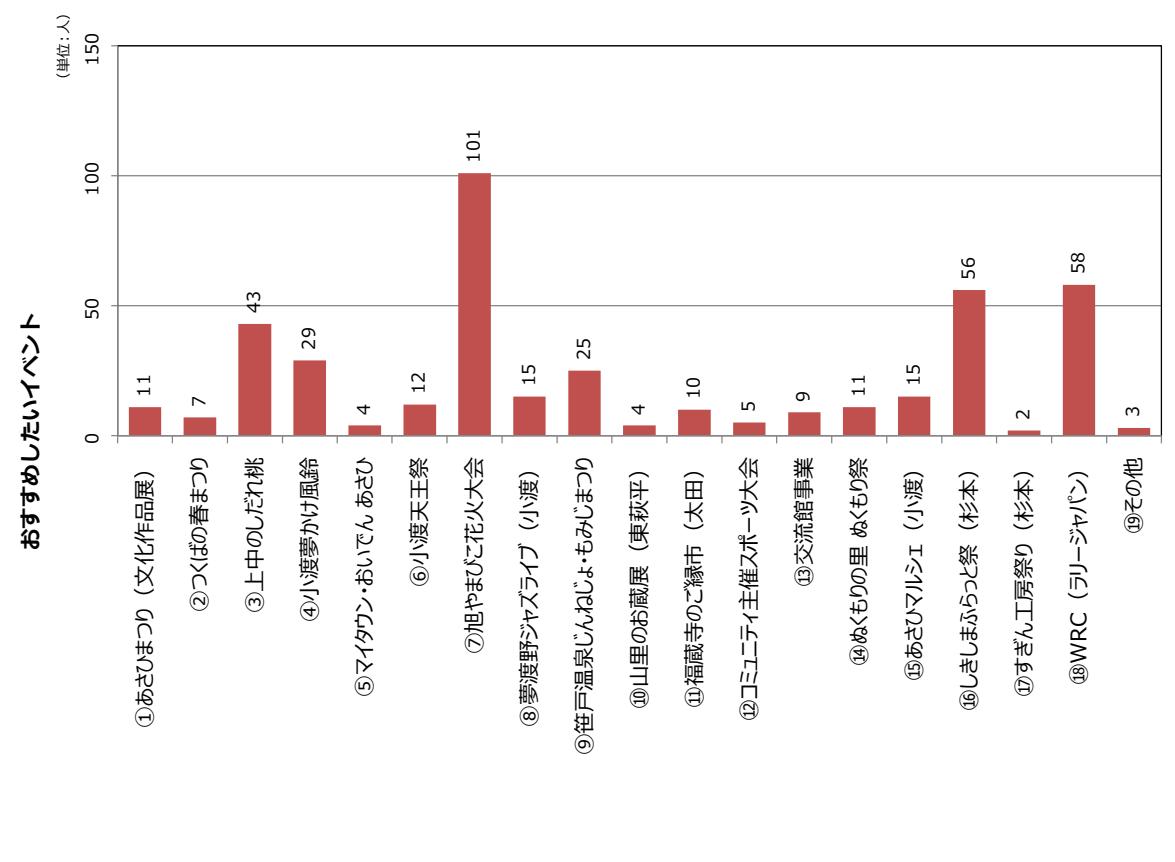
温泉の湯が良く、友達や仲間でゆっくりできる。 あさひ荘はもっと利用されてもよい場所である。“老人”についているので、若い人は利用できないと思ってしまう。	温泉の湯が良くて、命の大切さを養う 魚に直接触れることで、命の大切さを養う
格安で極上の湯に入れる。休憩所もあり、長い時間のんびり過ごせる。 使用料も安く、一日のんびりできる場所	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
湯がとても良く、環境も良い。ゆっくり、のんびりとできるので、休養の他、サロン、サークル等に活用されることよい。	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
矢作川や山々の見晴らしが良い。今年度はクーラーが新しくなり音もしなくなった。旭高原に次ぐ来客数がある。	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
季節感があり子どもから大人まで楽しむことができる 食事(鮎料理)と川遊びの組み合わせは、子供から大人まで楽しめる。小渡どこ近くの商店街への波及効果も見込める。	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
高齢者の地域社会に貢献する場 老人会(食事)	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
鮎のつかみ取り、炭で焼いた鮎はとても美味しい。 できたてを食べることで、鮎も頭から食べられ、とても美味しい 自然の中食べるアユはおいしいから	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
おど観光やなの名前のとおり、そぞくで心やさしい、働いている人たちがとてもよいです。 訪人があつた時接待には丁度良い	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
「水の郷 旭にふさわしい川の活用 家族などで行きやすく、この土地ならではのものだと思うので	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
昔からある観光施設なので応援したいから 食事会に参加 鮎の焼き方が良い	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
魚に直接触れることで、命の大切さを養う 鮎の焼き方が良い	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
近くにヤナがないので行ってみたい	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
「水の郷 旭」をもっと売り出したい 時間を見忘れています。	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
JA前の矢作川、川遊び	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
島崎河原の整備をしたらBBQが楽しめるのではないか 田津原、本流より水が澄んでいい 川がきれいだから	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい
水がキレイ、いつでも空いている、近い	鮎の刺身がおいしい 鮎の刺身がおいしい

問 11 最近 5 年間で参加したことのあるイベントは?
出口を機に始まった「あさひマルシェ」、しきしまの家のオープンとともに始まつた「しきしまふらっと祭」、世界的なイベント「WRC（ラリージャパン）」がこの 5 年間で行われるようになり、多くの住民の方が参加しているようです。

最近 5 年間で参加したことのあるイベントは?



「その他」でご記入いただいたイベントやお祭り等
・つくば夏祭り



おすすめする理由

おすすめイベント	理由
①あさひまつり(文化作品展)	空いてて楽。 地域に住んでいる方々の素敵な作品をみることができたため。 友人と練習し、発表して喜んでもらえる人いるところ嬉しい 地域の人の作品が見られる
旭全体の年に一度のイベントだから	貴重な祭りの場だから
多くの人たちが集まるため	文化作品が好きだから
作品の出来栄えがすごい	展示品が良い
②つくばの春まつり	とても楽しいから 梅が綺麗
③上中のしだれ桃	実際に参加、参加者全体で盛り上げようとする雰囲気があった 近所だから行った 花が好きなので 田畠以外の人を見ていただきたい きれいだから 花(植物)がされる 維持管理が大変なので、もっと観光客に来てもらえるように市も予算面で補助してほしい もっと観光客に来てほしい うつとり
④小渡夢かけ風鈴	とても美しいから 梅が綺麗
⑤マイタウン・おいでんあさひ	花がキレイなので集客できそう 花が好きな人にはとても良いと思います。 静かな山の中でほどよい歩行。以前は折り返し付近にてコーヒーや五平餅等を食べられたので、復活してほしい。満足度が違ってくると思う。 絶景 町外の人から好評 地域の活性化につながるイベント とてもきれいなので、もっとたくさんの方に見てもらいたい 花を見しながらゆっくりできる しだれ桃が美しい 花桃がとてもきれいで、本当に桃源郷のようだから しだれ桃が美しく感動した 有名

皆様方の苦労が美しい花を咲かせ、すばらしい、見事な花だった	自然豊かな旭の象徴景色 とてもきれい
きれいな花を眺められる 一度は行ってみてもいいかな	旭地区外からよく人も来るため
地元の方の協力が素晴らしいので 広い場所にたくさん植えてあり、咲いたら見事	地元を活気づけたい
集客力が大きく、旭の地域づくりに貢献できる 山里らしく、とても良かった	花が好きなので
参加(見学者)が大勢いる。楽しい。 小渡を最も広範囲に長期間楽しめる。地域住民も幅広く参加しやすく、一般観光客への幅広いアピールや定住者募集にもつながりやすい。	この中では一番宣伝されている。 気持ちが安らぐ 小渡の商店街が蘇るきっかけになりそうだ 写真映えする かなり賑わっていたと思うから。 特色あるイベントだから SNS映えすることと、他ではありません見かけないことから 勧めたいが、期間を短くして、もっと飲食を楽しめるといいと思う 橋や休憩所の手作りの竹のアーチ 心が落ち着くから。風流である。 普行った時、風情があつて良かった 風鈴がきれい 旭地区以外から参加できるところが良い。駐車場等の問題はあるが、TVや新聞でも取り上げられるイベントである。 風鈴の音色がなんども言えなく、安らぐ 風鈴の音が心地よい 風鈴がたくさん吊るされ、音で心が癒される 風鈴の音に情緒あり 地元を活気づけたい 子供が楽しめるイベントがいっぱい オーナンジイベントのお祭りも楽しい 集客力が大きく、旭の地域づくりに貢献できる やはり地域の人と交流ができるので楽しい 踊り連も増えてきて、見ていると元気になる かんぱって踊っている姿を見られるから

⑥小渡天王祭	お祭りらしい祭り	山峠に響く花火が街の花火とは違い、すごい
	小渡を中心とした祭りと花火が同日、同じ場所で楽しめること。	渓谷に響く音が最高
	松明行列など	はなびきれい
	花火がとてもきれいで一度は見てももらいたい	目立つイベントが他に特にないから。
	山に囲まれ花火が間近で見られ、音も反響し迫力。	旭やまびこ花火大会
	歴史ある祭で豊田市内でも自満ができると思う みんなが知っている祭	山の中の花火だから。
	松明行列が壮观。	小じんまりしているが、風情がある。
	夏のイベント・花火大会と天王祭の充実化をして継続していく	近くなので出かけやすく、迫力があって楽しいから
	ひ旭やまびこ花火大会	近くで打ち上げ花火が観られる
	楽しみにしています	間近で見ることができて迫力があるってよい
⑦天王祭	たいへん迫力があり、見応え十分	花火の音を聞いてほしい
	小渡を中心とした祭りと花火が同日、同じ場所で楽しめること。	美しい
	小渡で立派な花火が観覧できる	花火が近く感じる
	規模も大きく誰でも参加しやすいから。花火の距離が近く迫力がある。	旭らしい花火大会でよい
	花火大会は是非見にきてください	伝統的で他にはない花火
	近くで見られる	近場でこんなに迫力ある花火を見られるなんて幸せ
	近くで花火が二個があるので迫力がある	花火が良い
	豊田市の(花火大会)に比べると少ないけれど美しい	音の響き
	山間部ならではの花火のこだまが聞けるし、迫力がある	迫力のある花火が観られるから
	旭地区以外の人も参加できる	花火の音がすごいらしい
⑧矢作川の花火大会	近くで見ることができるので迫力がある	多くの人が集まり、情報が増えます
	矢作川の花火大会	ほどよい人出と手作り感が好き
	花火の音の大きさと反響音の大きさが良い	旭ならではの花火大会花火を美しく見られる
	山の中の小さな花火大会。音がすごい。	花火がとてもきれいだし、その他にもいろいろな物が売っているから
	誰でも無条件で楽しめるので	行けば感動する
	山の中の花火は音がイベント名のとおり、やまびことなって響き、一味違った花火を感じられるのではないかと思う	他の花火と違い、独特なものがあるから
	街に出た人がふるさとを思い出してもいいから。旭らしいところがあるから。	とてもキレイ！
	音がこだまするところが迫力満点	人が少なく見やすい。花火がきれい。
	家から徒歩で行ける花火大会、あいかたいい。	息子たちが東京にいるが、旭の花火は近くで観られて情緒があり、最高だと正在している
	とにかくすばらしい。	花火は美しい、迫力あり
⑨花やまびこ花火大会	旭やまびこ花火大会	花火が好きだから
	近くで見られて迫力がある	山里と矢作川で流れ、響き渡る音がとてもいい
	渓谷に響き渡る音が最高！	帰省している友人と会える
	谷間に響き渡る音が素晴らしい	花火との距離が近く、迫力がある

	花火が近い	自然薯を使った料理が食べられる イベントも食べ物も満足だった
	花火	自然薯の魅力、底力は計り知れない。聞く人の4人に1人は「好き」と回答した。
	近くで花火が観られるから	おいしい自然薯が食べられる
	見やすい規模で良い	町に活気が出る楽しいイベント
	きれいな花火	地元だから
	なかなかに見えるがあるので、たくさんの人を見てもらいたい	特産自然薯の美味しいさを広く外部の人へ知らせる
	里帰りの理由になる	昼食を食べに行く
	花火は夏の醍醐味	地元を活気づけたい
	花火	おいしい自然薯が食べられる
	狭い場所でも程よい花火が上がり、雰囲気が良い。	地元なので
	夏のイベント・花火大会と天王祭の充実化をして推進していく	自然薯そばがおいしい
	山間の花火の音がこだまする	旭といつたら自然薯だから
	小渡のイベントで今までこれからも続くと良い。その中でも、松明は子供も大人も心から楽しんでいる。だんだん大人は少なくなつていいくけれど、焼いているのは最高。これは無くしたくない。	笠戸町にさわいを！宿泊施設ゼロからの再生！
	集客力が大きく、旭の地域づくりに貢献できる	集客力が大きくなりたい
	里帰りの理由になる	集客されてもうれしいイベント。とてもステキなハンドクラフトであふれている
	花火は夏の醍醐味	行きにくく、知り合いない外からいらっしゃると行くにはハードルが高かつたが、展示されているものが素敵だった。
	花火	再開されてとてもうれしいイベント。でもステキなハンドクラフトであふれている隣にカフェもできる予定。年2~3回は実施してほしい。
	花火	行きにくく、知り合いない外からいらっしゃると行くにはハードルが高かつたが、展示されているものが素敵だった。
⑧夢渡野ジャズライブ (小渡)	あの場所で本格的なJAZZが聴けることが唯一無二	①福蔵寺のご縁市(大田)
	入場するのに500円必要となるが、田舎ならではのきれいな空気、森林とともに素敵な景色が聴けるのが良い	友人と練習し、発表して臺んでくれる人がいると嬉しい
	雲田でジャズはいい！	移住者だから。旭に元からいる人は来ない。
	自然豊かな独特の雰囲気でのライブが心地よい	市内外からの関係人口の増加につながるから
	夢渡野JAZZライブをもっと大きく育ててもらいたい。生で演奏が聴けるのはGOOD	人々との交流が盛んだから
	地域で音楽フェスがあると嬉しい。気軽に子供も参加できそう。	近隣に住んでいる人たちが個性豊かなお店を出しているから
	田舎でジャズはいい！	地域内の世代交流も都市部からの参加もあり、子供も大人も楽しめるイベントなので
	すてきな音楽とお宮さんの静かな場所、空を見上げれば星、体中でリズムを刻んで奏でる音	年齢に関係なく、遊び、美味しい食べ物があり、おもしろいと思う
	楽は最高で、皆さんに聞いてほしい	参加者の意識が非常に高い
	ステージの近くで見られるのが良い	手作りのおいしいもの、良いものを買うことができて、あたがい雰囲気。
	スウェーデントーチの中でのシャズライブはとてもせいたくだった	素敵なおイベントだった
	本物のジャズを身近に感じることができる	他地区の人との交流が図られる。
	生の演奏を聴けるから	心と体が充実するため
	販売されているご飯が美味しい。景色がきれい。	交流の場として(旭全体)
⑨笠戸温泉じねんじょ・ もみじまつり	自然薯(夢のろろ)は現在世代交代が難しくなり始めている。旭の産物として生産、販売と活用(料理)の多面的な取り組みを進めていい。	旭中の人々と知り合える
	自然薯を活用した飲食がもっと産物になるといふと思うから	旭地区の人々と知り合える
	紅葉もきれいで、自然薯も美味しい。抽選会も楽しい。	交流を深めたいため
	地元の特産品PR	交流の場として(旭全体)
	いろいろな催し物があって楽しめたから	交流館の事業は常に新しい企画を考えられ、旭に新しい文化を取り入れられる内容だと思う。
	出店されている屋台の料理がその時限定のものが多くておいしい	新しい経験をしてみたい時や仲間がほしい時など、積極的に利用するとよい内容だと思う。
	特産の自然薯はもちろん、その他の特産品もあり、イベント内容も充実していると思う。地域外からの観光客も多いように思う。	スマート教室:生活に必要なで、使い方を指導してくれるのがよい

	よい企画があれば参加したい いつもすきな内容の企画をしてもらえる。年齢や人數制限があり、行けない場合は残念…	近くで、人々の顔が見られる いろいろな世代の人と交流できる 楽しい！
	ミッパチの巣箱作りに参加 皆さんの手芸や写真などか飾つてある とても楽しく一日過ごすことができる	人々との交流が盛んだから 老人から子供まで楽しめる季節行事が時折ある。 今後、もっと充実してほしいから
⑥ぬくもりの里 むくも り祭	火・金曜日にはおじいさんは行く 一度は見学しておくと後々ためになる。高齢者の気持ちを汲むことができる。 職員の皆さん之力を感じられる 行ったことがあるから	子供から大人まで多種多様な人が集まり、盛り上がっているから 子供も大人も楽しめる しきしまの家を応援しよう 毎日違うブースが出ていておもしろい(楽しい)
	ロビー展が良い	大学生との交流 しきしまの家の活動を多くの人に知ってもらい、利用してもらいたい
⑦あさひマルシェ(小 渡)	私たちも活動するから 旭産ハラペニヨンについて聞かれたことが何度もあるので。販売や加工品販売などが増えればもっと其他地区の方も来るし、楽しいイベントになると思う。 観光協会が地元と協賛し始めた企画と思える	大学生との交流がよかったです。 多くの人にとってやりやすいから 地域交流の場で楽しめる 多くの人の交流の場で活用 地元の活性化につながる にぎやかで、いろいろな人と出会えて楽しい
	毎月頑張っています。でももっと出店数が増えてほしい。地 元の方ももっと来場してほしい。 もっと特産品を増やして！	身近な人の会話や交流。情報交換。食事、コーヒー、イベントが楽しい。 子連れににとっては、近い、気楽、楽である 楽しい一時が過ごせるから 地域住民のニーズに応える取り組み 楽しいイベントが多いから 住民の要望にかなった取り組みのため 若い子もお年寄りの方も皆で参加できるから 私が行った中ではござわっていた 参加者の笑顔、会話が楽しい
	手作りの手芸品、工芸品、食べ物が並び楽しい キッchnerーの食べ物がおいしい 旭に関連する商工者のよき発信場所だから	近所だから もつと多くの人に利用してもらいたい 地元の行事なので 地元行事なので 地域交流の機会になつているため 子供が毎月楽しみにして行く 集客力が大きく、他の地域づくりに貢献できる
	いろいろな店があつて楽しい 最近少し客足が遠のいた気がするため 楽しいから	楽しいから 集客力が大きい おいしい、楽しい
⑧しきしまふらっと祭 (杉本)	楽しいです！ 色々な屋台が出ていて楽しいから いろんな人と触れ合える いろいろなものが食べられるから 気軽に立ち寄れる 食事をしながら交流するのに適している 楽しい一時が過ごせる 大勢の人とのふれあいの場。コーヒー、食事ができる。 気軽に行けて飲食もでき、交流の場としていろいろ見聞きでき、相談もできるところ 楽しみ	人々との交流が盛んだから ガチかっこいい 世界規模のイベントだから 世界的なラーが近くで見られる。 リージャバ、小渡地区も通つた。

ラリージャパンは世界的にも有名なレースであり、見る価値がある。	日本全体からの集客が見込める
世界のラリーが町内を走るなんてすごいこと。町外の人人がすごく興味を持つて見たと言っている。	間近でラリーカーを見られる
車が見られる	車がっこいい
世界が旭にやって来る。世界最高峰を知ることができるすばらしいイベント。	大きなイベントで、日本のトヨタドライバーはすばらしい
世界的有名な選手を見ることができることができるから	世界規模のイベントはなかなか見られない
様々な地方から来客があった	身近でWRCが見られることがない
車の音(スタート)で日頃のストレス発散。近くの県道で爆音、選手の応援に力が入る。	世界的な大会だから
世界のイベントだから	世界は夏祭り!お昼は五平餅が食べられたり、鮎が食べられて楽しい。川遊びもできるので、暑い夏にいいと思う。夜は花火をしたり、盆踊り(太鼓)をみんなで楽しむことができるオオスメ。
毎年行われないから	近くで気軽に立ち寄れる
世界のイベント	夢渡野市、毎月違うケーキやまんじゅうが楽しみ
世界的なイベント。もっと近くで見る場所があると良い	まとめて一年に一度イベントを
旭がありあがっている	
間近でラリーカーが見学できる	
たくさんの人人が来るから	
世界的で宣伝できるイベントなのに、豊田スタジアムばかりなのでもつと豊田市全体でするべき	
ラリーの町としてイメージづけ	
エンジン音に感動。ラリー車を近くで見られる	
間近でラリーカーの走りが見え、その日は地区内に活気もあり良い	
国際的	
旭高原元気村で見たラリーが心に残っている	
世界的に広めている。車の街、トヨタのアピール。	
身近で車の音、選手が見られ、応援できる	
経済効果をもたらす	
ラリー行事(見学)	
昨年行けなかったので、一度は見てみたい	
世界イベントで日本以外にも知られる	
間近でラリーカーを見ることができる	
自分が住んでいる地域で国際イベントが開催されることに誇りを感じるから	
世界的なイベントである	
車が好きだから	
車好きな世代は幅が広く、多くの人を呼び込みやすい	
日頃、見ることがないから	
全国から集客できるイベントだから	
毎年開催されるのであれば、WRCのルールや見どころを紹介してほしい	
全国から旭を知つてもらうよい機会	
リエゾンでの応援	
世界的有名なイベントなので、しっかりアピールするべき	
盛り上がるから	

問 12 最近5年間で参加または見学したことのある伝統芸能は？
外出の自粛やイベントの中止などが相次いだコロナの影響で、伝統行事への参加も5年前と比較してやや少なくなっています。しかし伝統を継承していくたいという意見が多くみられます。

おすすめする理由

おすすめ伝統行事	理由
①棒の手(地元地区)	かっこいいよ！ 特にない
棒の手すごい	
参加したことがある伝統行事	
①棒の手（地元地区）	伝統って感じがするから 棒の手は伝統行事として続けて欲しい。
②棒の手（地元以外の地区）	棒の手は伝統だから 自分の地区的伝統だから
③打ち囃子（地元地区）	伝統行事として、無形文化財を見直してほしい 姿勢がいい
④打ち囃子（地元以外の地区）	迫力があって見て楽しいから。 迫力があるから。 棒の手は複数の派生がありそれに魅力があるから。
⑤その他	伝統を守つほしい 地元地区的行事であり、参加を呼びかけてさればと思う 伝統武芸としての継承
「その他」でご記入いただいた伝統芸能等	
小学生指導	子供に伝統が引き継がれている 迫力があるって良い
足助の秋のお祭り	子供たちが大人の指導のもとで練習していることはいいん良いと感心した(敬老会で見た)
太田の伊雑神社の祭り	伝統行事事が地域の絆を作っている
挙母祭りのひき出し	伝統的文化財 伝統を大切にしたい 長く続いている見応えがある
おすすめしたい伝統芸能とその理由	
おすすめしたい伝統行事とおすすめした人数 (単位:人)	
①棒の手（地元地区）	78
②棒の手（地元以外の地区）	19
③打ち囃子（地元地区）	65
④打ち囃子（地元以外の地区）	6
⑤その他	2

「その他」でご記入いただいた伝統芸能等

小学生指導	昔を感じるから 継承してほしい
足助の秋のお祭り	地元だから
太田の伊雑神社の祭り	子供が減ってしまったが、おじさん達が頑張っている
挙母祭りのひき出し	棒の手は見てもいいし、やってもいいので楽しいと思う 小学生がすごい 昔から受け継がれているから
おすすめしたい伝統芸能とその理由	伝統と世代交代 子供の頃より棒の手をやっているが、練習し披露しちゃうのも楽しい、喜んでもらえることが嬉しい 地元の行事なので

	伝統をつづけているから。 棒の手は複数の流派がありそれに魅力があるから。
①棒の手	迫力のある、熟練度の高い棒の手を観た際に「来てよかったです」という気持ちになつた 薩刀がかっこいい 見てみたい
文化的なまちづくり	伝統として継承
地元に続く行事だから	小学校の体育館で大人と子供がやっているのを見ていたいなと思った 迫力があり、すばらしいので、続けてほしい
地元の伝統行事のため	杉本地区の棒の手、打ち囃子はお勧め 長く続いている見応えがある
小さな子供たちがリズムよく棒を裁く格好は、長く続けていってもらいたい。祭りを盛り上げてくれる。	地元の行事なので 地元の伝統行事
継承していくことを願うから	いろいろ見られて良い いろいろな流派があり、踊り方も違うのでおもしろい
他にはない伝統行事だから受け継がれてほしい	小学校の運動会で棒の手を見る。とても上手。
伝統的で演技がすばらしい	かっこいい 打ち囃子は良いものだ。特に地元のものは。
お祭りにかかせない	今の時代、子どもから老人まで出席しないことだけ、今ならまだ人に伝えることはできる。
他の地域にない	練習の見学に行つただけだったが、おなかに響く良い音だった。伝統あるものが残っていくとよいと思う。
敷島小の運動会で見た	他にないから仕方なく 地元だから
今後共、継承してほしいから	子供から大人まで参加しやすい 村祭に打ち囃子は付きものであつたが、今はない。伝承したい。そして、他地域との交流、伝播(打ち拍子、笛の曲の変化)を比べるものもいい。
地元文化の継承を図る	山々に響き渡る、軽快な笛と太鼓の音色は旭の伝統で懐かしい。 それぞれの地区的伝統を受け継いでいる
昔からの伝統だから	子供の頃から聞き慣れている太鼓の音。心がわくわくしてくる。
近くで皆が一生懸命取り組んでいるから	各地元の伝統行事を保全すべきだから。または、地区を超えての旭地区全体行事として併用。
小学生より指導しても、地元を出るとどうしても遠のくようになつてしまふ傾向があるので、なんとか将来的に持続できるような努力を	打ち囃子とともに、小渡天王祭は伝統行事として継続できるといふと思う 昔からの行事。今は人が足りず、子ども園から高齢者、一体どなつて取り組んでいる。
一生懸命頑張ってみえる。地元として誇らしい気持ち。	地元の伝統行事。古きを知る。
棒の手奉納するお祭りに参加し、棒の手の演武を見てみたい	地元だから
大人が心から楽しんでいる姿が良い。	地元の伝統行事だから
大人だけでなく、小学生の一生懸命な姿にグッとくる。	地域の伝統行事
貴重な伝統芸能	伝統芸能として後世に伝えていきたい
敷島小学校児童が取り組んでいる、継続してほしい。	特にない
伝統行事を次世代に継続させたい	旭地域でもできるよといが
子供が小学生の時に習い、地元の大切さを感じられる	伝統行事として、無形文化財を見直してほしい
敷島小学校	②棒の手(地元以外の地区)

迫力があつてすごいので、ぜひ見てほしい	とにかくかっこいい
伝統を守ってほしいから	杉本の棒の手
文化的なまちづくり	地元に続く行事だから
地元の伝統行事のため	小さな子供たちがリズムよく棒を裁く格好は、長く続けていってもらいたい。祭りを盛り上げてくれる。
継承していくことを願うから	他にはない伝統行事だから受け継がれてほしい
伝統的で演技がすばらしい	お祭りにかかせない
他の地域にない	力がある
敷島小の運動会で見た	他の地域にない
今後共、継承してほしいから	昔からの伝統だから
地元文化の継承を図る	近くで皆が一生懸命取り組んでいるから
昔からの伝統だから	小学生より指導しても、地元を出るとどうしても遠のくようになつてしまふ傾向があるので、なんとか将来的に持続できるような努力を
一生懸命頑張ってみえる。地元として誇らしい気持ち。	一生懸命頑張ってみえる。地元として誇らしい気持ち。
棒の手奉納するお祭りに参加し、棒の手の演武を見てみたい	棒の手奉納するお祭りに参加し、棒の手の演武を見てみたい
大人が心から楽しんでいる姿が良い。	大人が心から楽しんでいる姿が良い。
大人だけでなく、小学生の一生懸命な姿にグッとする。	貴重な伝統芸能
伝統行事を次世代に継続させたい	敷島小学校児童が取り組んでいる、継続してほしい。
子供が小学生の時に習い、地元の大切さを感じられる	伝統行事を次世代に継続させたい
かっこいい	かっこいい
迫力があつて楽しいから	迫力があつて楽しいから
伝統行事はなくはない	伝統芸能として後世に伝えていきたい
小学校の運動会で棒の手を見る。とても上手。	特にない
かっこいい	旭地域でもできるよといが
伝統芸能として、無形文化財を見直してほしい	伝統行事として、無形文化財を見直してほしい

子供たちから元気をもらう お祭りが楽しい 地元地区的行事であり、参加を呼びかけてきればと思う 地元らしさ 伝統を残していく 伝統を守つていくことではなく、小さい子供から大人まで織のつながりができる場所 であり、行事だと思う 打ち雛子の祭りに出る人が少なくなってしまった 体制等、身の丈に合った伝統文化の継承が大事である 子供・女性も取り込めばまだやれるし、住民の多世代・多様な人同士の交流にもなる 打ち雛子はどうもすてき 保存会員である。周りには「ない」流派である。 迫力がある 地元の伝統芸能のため 小さな子供たちがリズムよく棒を裁く格好は、長く続けていいってもらいたい。祭りを盛り上げてくれる。 他にはない伝統行事だから受け継がれてほしい コロナ禍もあり、神社から打ち雛子の音が聞こえてこない。早く復活することを願う。 地元文化の継承を図る 太鼓や笛が途絶えそう。男女、子供関係なく続けられたら嬉しい。 同じ曲でも、地区ごとに少しずつ違いがあり、面白いから テンポも良い、他にない曲目がある 伝統ある文化 昔からの伝統だから 引き継がれてきた大切な文化のため 小学生より指導しても、地元を出るとどうしても遠くになってしまふ傾向があるので、なんとか将来的に持続できるような努力を 一生懸命頑張ってみえる。地元として誇らしい気持ち。 白鳥社(有間町) 字のお祭りのときに、年齢に関係なく全員参加してほしい 大人が心から楽しんでいる姿が良い。 大人だけでなく、小学生の一生懸命な姿にグッとくる。 子供がいない中なんとか継承していくたい ふるさとの祭の音は旭の外で暮らす人たちに懐かしく聞こえると思う。また、地域外の人にもどこかで聞いた祭の音は心に響くと思う。 伝統芸能として後世に伝えていきたい 伝統を継承していく 大切に残していく 杉本地区の棒の手、打ち雛子はお勤め	同じ曲でも地区ごとに少しずつ違があり、面白いから ふるさとの祭の音は旭の外で暮らす人たちに懐かしく聞こえると思う。また、地域外の人にもどこかで聞いた祭の音は心に響くと思う。 ⑤その他 足助の秋のお祭り！山車がすてき 棒の手と打ち雛子をコラボした方が良いと思う 拳母祭りの引き出し
--	--

(4) 自由意見のまとめ
問 13 今後、力を入れて取り組んで行くべきだと思うことや、旭地区のまちづくりについてのご意見・ご提案

いたいたい意見・提案			
自治区	性別	年齢区分	
浅野	男	40~49 歳	災害で家がこわれてしまつたら建て直して住むことができなくなるので、災害及び家を建て直して住むことができる対策をしてほしい。
浅野	女	40~49 歳	日常困る、不便だなと思う事は様々あるが、問題が大きくどうしようもない。
浅野	女	40~49 歳	人數が少ないので一人人が満足して生活していくのが、イベントが縮小されていて、若者としてはあまりおもしろくない。地域の伝統を正しく継承していくべきだと思う。若者を使ってくれていいの等に教育を受けられるように、無理せず町づくりをしていけばいい。
浅野	女	15~19 歳	若者がリターンしてくるような町づくりをしてほしいです。
浅野	男	15~19 歳	買い物ができる場所は小腹地区が多いが、敷島地区も置いてほしい
浅野	男	19~29 歳	・災害時の避難施設の設置(各自治区に) ・幹線道路にはみ出している樹木、竹の撤去
浅野	男	19~29 歳	・鳥獣対策(猿、猪、熊、鹿の捕獲)で自然と農産物を守る ・済税
浅野	女	30~39 歳	高齢化で仕方ないとは思うが、イベントが縮小されていて、若者としてはあまりおもしろくない。地域の伝統を正しく継承していくべきだと思う。若者を使ってくれていいので、旭まつりを総合体育館でやりたい。スポーツエスタを復活させてほしい。
浅野	男	30~39 歳	ある一定の基準を満たせば補助が当たりすると、もつと20~30代の働く世代、子育て世代が定住を考えると思う。今住んでいる人たちも地域への行事に参画したり、交流の機会になると思う。子供の学習塾も充実してほしい(近くで)
浅野	女	30~39 歳	若い世代に旭地区へ通勤する、もしくは小さな子供を連れて病院へ行くなど、車の負担距離が出来てしまう、ガソリン代が多い。そのため、通勤・子育てなどに対する距離感が長距離にあること、それがあると良いと思う
浅野	男	30~39 歳	高齢者の免許返納をする人の数が増加し続けると思うので、高齢者の生活をサポートするサービス等を充実させて安心して暮らすことができると思う
浅野	女	30~39 歳	少子化が進み、若い世代の移住者の減少は明らか。待てば好軒するという問題でははないので、常に今が力の入れどころ。
浅野	男	40~49 歳	高校進学の便が悪く、行き先が限られるため、入試の際に悩む。また進学を機に引っ越しをすることもあるよう思ふ。車か運送できない高校生の通学手段を増やし、進学先の運送手段を取り組んでいる自給家族の仕組みを旭地区に広げてやっていくけるように、支所もサポートしてくれるといふと思う。他の(敷島などの)先進的取り組みを旭内で学び合えるようにした方がいいと思う。
浅野	女	40~49 歳	①医療体制の充実 ②災害時の避難場所を自治区毎に設置する
浅野	女	40~49 歳	災害に弱い土地ですので、まずは道路などのインフラや駅前会館は災害時使えませんので代わりの避難所の整備をお願いします。また室内に障害者がいます。地域とかかわりながら、安心して過ごせる環境を整えていただけるとありがたいです。
浅野	男	40~49 歳	・地域のまどめ方、たまみ方、家も含む。
浅野	男	40~49 歳	人口が減っている中、ムリに今までどおり行事を行う事はムリがある。予算をもつと有効活用する為にも、行事を見直ししりやり参加させれる等がない様にした方が良い地区行事等は人がつまりにくいのです?
浅野	女	40~49 歳	道路の草刈り(特に県道)は頻繁に行つても見えるといつがたいたいです。自転車やダンプなどが大型車が通ると反対車線にはみでてくる対向車も多く、危険だと感じることが多いです。最近は鳥獣害(シカやヤマネ)の被害が多く、農作物を作りたくても作れない状況なので、何かしらの補助があるとよいです。(旭地区として)
浅野	女	50~59 歳	島崎公園のトイレ、その他の公衆トイレ。 夏になると増えれるサイクリングの人が安心して走行できる道路整備。
浅野	男	50~59 歳	もうこの地区に未来は無い。早くなんとかしないと本当にダメだとと思う。
浅野	女	50~59 歳	若い世代の人が、一度旭を出て行っても戻ってきてほしいと思えるまちになるといすゞ旭地区だけでなく、日本中人口が少くなる中で、今までと同じことをやつたりしないでもいいと思う
浅野	男	50~59 歳	観光地として集客があるといいなと思う
浅野	女	50~59 歳	高齢化が進む中、各種の難民対策が必要と思う。これは地域だけではなく、行政と地域が一緒に課題しなければ、この先旭地区での生活ができず過疎化が進むだけと思う。
浅野	男	50~59 歳	今後、必ずあると思われる南海トラフ大地震に備えた防災対策。各自治区、各町内で自助・共助・公助を真剣に考えることが大切。少子高齢化に対する手立て。
浅野	女	60~64 歳	・空き家バンクに力を入れ、人口減少をストップさせる ・道路の整備 ・備く場所の確保
浅野	女	60~64 歳	旭地区に来てくれる様なイベントをする。 参加してメリットのある内容を考える。
浅野	男	60~64 歳	高齢者や子供を地域で支える仕組み 農業後継者が多い。いろいろ行事を行ふにも老人世帯が多く若い人の世帯に負担が大きくなり、住みにくい。子供の教育についても、ボランティアの名のもと、負担をせられており、教育に不安がある。
浅野	女	60~64 歳	耕作放棄地が増えている昨今その管理維持が大きな課題となっていると思う。国の政策に大きな問題があると思うが、祖先からいただいた土地まにしておくことは良いことではないと思います。行政がもっと構築的に取り組む課題に思う
浅野	女	60~64 歳	アンケートは一時ですが経費(みんなの税金)を考えると封筒が工質すぎる。もつと大切に使ってほしい
浅野	男	60~64 歳	高齢者・ひとり暮らしの人も山間部の中で安心して暮らせるようにしてほしい・交通機関のこと(車がのれないとなるため)道路の街灯(夜道路が真っ暗なところが多い)・携帯電話が使えないなど。
浅野	女	65~69 歳	災害時の避難所が旭支所になつてあるが、収容能力に限界があると思う。地区的会館、集会所を消防車を含め、避難所として使えるよう所移動も考え、現実味のない場所を当り前のよう公に「避難所」としているのはどうかと…
浅野	男	65~69 歳	特になし 今までよいのでは?

浅野	女	65~69歳	イベントなど最初は出店される方が多く、参加者もたくさんだが、だんだんと少なくなつてしまい、寂しくなつてきて行こうと思わなくなる。
浅野	男	65~69歳	何をしてても無駄である
浅野	男	70~74歳	人口減少の歴止めとしてリターン、ertonの促進と住民の充実。空き家バンクと共にして空き家の情報発信、売却側・購入側ともにメドリがある売却税・取扱税の軽減補助。「売つて良かった、買って良かった、住んで良かった旭」
浅野	女	70~74歳	もう年老いていくばかりなのでビンゴコロリと生きたい
敷島 築羽地区は空き家対策、定住促進はじめ諸活動が積極的で、イベントにも子供から老人まで取り込み、熱心さが伝わってくる。それに比べ、矢作川沿い地区は今一つ消極的なまちづくりだとと思う。良きリーダーを育てること、地理的状況もあるかと思料するが、お年寄りが楽しく参加できる行事を増やし、実践してほしいと思う。			
浅野	男	70~74歳	高齢者が暮らす街の住宅整備と町との差を考える事
浅野	女	70~74歳	若い方が移住して頂けると良いですね。若い方が働く場所を作る事。
浅野	女	70~74歳	季節に合わせた行事を内外に知らせる事。
浅野	男	70~74歳	高令者への支援 子どもたちが楽しく過ごせる為の援助 開かれた学校
浅野	男	70~74歳	集落ごとに描いた絵(フレーナー)による取り組みに差がある。
浅野	女	70~74歳	高齢者のための運動が定期的に(週1)トレーナーの指導のもと出来るような取り組みををお願いしたい
浅野	回答しない	70~74歳	よくわからぬが、高齢化が急速に進んでいて若者が住みよいところではないと思われる。何をどうすべきかもわからぬ。
浅野	女	75歳以上	私の部落では、県道法面の草刈りを年2回行っている。今は自分の家の周りの草刈りもできない家庭が増えている。反対に少しでもと思い、自分の周りの県道の草刈りを自家的に行っている人もいる。豊田市は人の家の周りまで草刈りしてくれない。昔からこの地に住んでいる人は本当にまじめに取り組んでいるが、新しく移住した方などは、お役も出ない人がいる。地区を良くするには、大きな力が大切だと思う。
浅野	男	75歳以上	イベントだのいろいろな行事を進めるのは良いことかとも思われないが、県道は草が生い茂り、街から来る車は草除けのためセンターラインを越えて運転がとても危険。豊田スタジアムの前には公園を作つており…街の開発はすさまじい。田舎は猪、鹿、猿の害で高齢者も対策は限界。今の旭地区をもっと生の目で見てほしい。
浅野	男	75歳以上	以前の旭町時代のように、文化人等による会合を開催してほしい。旧豊田市方面での開催は、高齢者には参加・出席が困難。合併後は旧旭町での開催が少ないと思う。
浅野	男	75歳以上	地域会議委員の皆様は一生懸命やつておられると思うが、なかなかその活動が町民に見えてこない。もっと地域会議の会議中を見ることができたらいいと思う。
浅野	男	75歳以上	現在の旭にこつて最も重要なことは、若者の人口を増やすこと。今の状況は、若者の都会への流出によつて高齢化が進み、そのために独居老人が増加の一途をたどつてゐる。行政を見ていると、都会重点、中山間地切り捨てと思えるくらい無策ではないか。
浅野	男	75歳以上	若者の人口を増やす策として、高齢化によつて耕作できなくなつたが管理しなくてはならない耕作放棄地を活用して住宅を造り、安価に提供する(敷島自治区、木本地区が良い例)。下切地内の市道周辺には環境、条件が揃つている。
浅野	女	75歳以上	地域の地権者と前向きに話し合う機会をつくるみてはどうかと思う!
浅野	男	75歳以上	足助病院通院で自宅からバス停まで長い時間は地域「バスなし。歩くのも不自由となり、雨降りなど個人で誰かに頼んで行くこともあり、個人タクシーでもある」とよい。
浅野	男	75歳以上	①風祭で、町全体を風鈴で盛り上げる ②小渡やなも風鈴祭と呼ばれてひと工夫 ③豊田の奥座敷のフレーズを強調した方が ④ツーリングコースをPRしてもいい

			⑤ウォーキングコース 豊田市駅(おいでんバス)小渡終点下車～恵那明知へ、明智鉄道で恵那駅(一日コース)
浅野	女	75歳以上	私たち夫婦は農業をやっており、農林被害に悲鳴を上げている。電気柵、トタン、木、檻など役に立たず困っている。猪が畠つたところから土砂崩れも起きているため、対策に力を入れてほしい。環境美化などの草刈りも年齢りも年齢りばかりでやっているが、未にはこうした行事も懸念は無理。もっと視点を変え、考えてもらいたい。
浅野	男	75歳以上	矢作川に親しみ行事の開催(小学生の釣り教室等)
浅野	女	75歳以上	矢作川の雑魚の種類が減少した原因調査と対策を実施し、昭和30年代の川の状態に戻すこと
浅野	男	75歳以上	・矢作川の雑魚の種類が減少した原因調査と対策を実施し、昭和30年代の川の状態
浅野	女	75歳以上	・空き家の整理 ・旭地区の施設やイベントの参加
浅野	男	75歳以上	地区の問題 最近僕が増えて、お金・手間を掛け体調が悪く、O印をつけた参加できないため、不記入
浅野	女	75歳以上	地区の問題 野菜を作つても僕に食われ全滅大変悲しいです。 年々増えます。早急に対策出来ないでしょうか。
浅野	男	75歳以上	地区の問題 ・野菜を作つている家庭は皆さん僕に野菜を食られて困っている。(野菜全くまもこわいがさるるはまだ悪い。
浅野	男	75歳以上	行政で対策を考えてもらえないですか。
浅野	女	75歳以上	1.農耕業に必要な予算 2.幹線道と生活道路予算と災害に強い道路 3.交通環境への整備
浅野	男	75歳以上	須洲町の場合は、自主避難所は旭支所である。往路のかけ駆けが心配である。浅谷トンネルが完成すれば心配無くなるが遠い。浅野会館を避難所とすべき整備裏山の山崩れ防止対応をしてもらいたい。
浅野	男	75歳以上	高齢化が進んで田、畑も続ける事が大変になりつつもそれでも毎日一生懸命働いています。しかし最近ではさる、ハクシン、イノシシなどにめちゃくちゃにされ心が折れる事が多くこれに対する対策をなんとかしてほしいです。
浅野	男	75歳以上	移住者が増えて、にぎやかな町になると良い。高齢化になつてきているため、できるようなら池島のぬくもりの里、同郷地図に特養があると良い。
浅野	女	19~29歳	若者、子育て世代が住む家が足りない建てられない。中年、壮年世代の地域活動や文化継承に必要な人手も少ない。
浅野	男	40~49歳	観光する場所がない。もう一度来たいと思わないと思う。特産品がない(あるいはビールでさてない)
浅野	女	40~49歳	長らく関係人口だったけれど、移住して数か月。まだ地域のことなどわからないことにだけ。過疎、少子高齢化が色んな影を落とす中、今住んでいる人と外から移り住んできた人が、幸福に楽し、長くこの土地で暮らしていくためのまちづくりがされていくことが大切だと思います。
浅野	男	40~49歳	住みやすい地区にしたい。無理に行事やイベントをしない方がよい。
浅野	男	40~49歳	観光スポットの充実と特産品などの開発、知名度向上。
浅野	男	40~49歳	旭には遊ぶ湯場が無さすぎる。子供たちが集まる居酒屋も無い。残念ですね。

小渡	男	50~59歳	移住者・定住者等の受け入れは積極的に行われてあり、ある程度の成果はあると思われますが、それ以前に地元の苦い人が外へ出ない様にすることが大事かと思っています。	工場(動ける場所)の説教が大事、地形が山岳地形なので、平地が少なく、なかなかか土地造成ににくいが、働く場所が整えば人口も増えるし、消費も増え、あらゆる産業が活発になり、良好なサイクルが生まれる。
小渡	女	50~59歳	住み続いている街づくりをしてほしい	人口が減少していく中で、おちてなしをしながら手伝つてもらうではなく、旭地区でのイベン、行事を住民どともに作りあげていつてくれるよう、人達を増やすことが必要ではないかと思う。そういう風土になって、受け入れていいれるよう取組みをしていかなければならないと感じる。
小渡	男	50~59歳	人口が減少していく中で、おちてなしをしながら手伝つてもらうではなく、旭地区でのイベン、行事を住民どともに作りあげていつてくれるよう、人達を増やすことが必要ではないかと思う。そういう風土になつて、受け入れていいれるよう取組みをしていかなければならないと感じる。	高齢化が進む中、近所付き合いが大切になつてくると思う。その繋がりを維持していくことが課題だと思う。
小渡	男	60~64歳	限界集落と言わぬといいが、住民のみなさんの力でここまでよくがんばってきたこと、思ふ。ただ全体的な高齢化が進み、これまでと同じことを維持するだけでも限界がある。新しい試みも大切であるが、様々な行事を簡素化し、時間的に余裕のある生活ができるようにすることが急務だと思う。	草刈り等の作業が今まで通りできなくなつてしまつて、鹿が激減する取り組みを。街づくりとは直接関係ないが、追求することは大事だと思う。
小渡	男	50~59歳	・若者が住むことができる住居の整備	旭地区の道路改良が不十分である。まだ市道県道の整備がされていない道路が多く、順次整備を提案する。生活道路、災害道路、福祉道路、重要な大事だと思う。
小渡	男	60~64歳	旭への移住者が散見され、子供たちの声が戻りつつあるのはうれしいこと。一度にたくさん移住者を受け入れると地元との距離が生じるので、少しずつ受け入れ、地元が移住者に慣れることが大切だと思う。	鹿が暮らすための農作物への被害が甚大。鹿が激減する取り組みを。街づくりとは直接関係ないが、追求することは大事だと思う。
小渡	女	60~64歳	・若い世代をどんどん受け入れていく(住宅や仕事)	旭への移住者が散見され、子供たちの声が戻りつつあるのはうれしいこと。一度にたくさん移住者を受け入れると地元との距離が生じるので、少しずつ受け入れ、地元が移住者に慣れることが大切だと思う。
小渡	女	60~64歳	・環境作りに取り組んで行くべき個人ではやつているし、やっていきますが…)	旭への移住者が安心して生活できる環境整備、防災
小渡	女	60~64歳	・インターネットの環境を充実させてほしい。光ケーブルに5Gのアンテナ等を設置してもらえれば、働く人が増え、人口流出も防ぐことができだと思う。早急にお願いします。	旭地区の住民と他の地区の人々に、「認知してもらうことが重要だと思ふ」という言葉をもつて、地域活性化の取り組みをしてほしい
小渡	女	65~69歳	空き家バンクの活用	旭地区だけに自己完結的には街づくりをやることは難しい。そのためもあっての平成の合併だと思うが…・自主的組織化と、その活動には予算を考えてあげよう!との政策のためにには、リーダーシップを取れる人材育成と交流の場が必要と思うが…
小渡	女	65~69歳	空き家バンクの活用	旭地区だけに自己完結的には街づくりをやることは難しい。そのためもあっての平成の合併だと思うが…・自主的組織化と、その活動には予算を考えてあげよう!との政策のためにには、リーダーシップを取れる人材育成と交流の場が必要と思うが…
小渡	男	65~69歳	現在のイベントを中心することなく継続していくシステムを作る	高齢者は絶対に直してはならない
小渡	女	65~69歳	近年、地震・災害・有害の危険が心配されている。生活に一番大事な食について田舎でのある旭に期待されているのは、環境の良いところに住み、農業をしながら豊田市内で賃金を得る”兼業農家のスマ”である。人口減少を抑え、農地の活性化、地域の老人たちの生きがいにつながると思う。(指導や技術の伝承、農作業の軽減)	多様な価値観があるなかで、すべてをやるのは難い。各地域で大切にしたいこと
小渡	女	65~69歳	つぶれそうな商店があれば、町全体でテコ入れし、軌道に乗せる。	道路の草刈りや耕作放棄地の草刈りなど町内会でも実施しているが、手が回っていないところも多く、景観が良くないのでなんとかしたい。観光施策にも貢献策にもなると思う。
小渡	男	65~69歳	AIをフル活用して人手不足を解消する。	川や森といった自然、祭りなどの行事。これら旭地区に元々あるモノを活かし、市街地の人々が求めるモノを提供できる街づくりをしていく。
小渡	男	65~69歳	家の建て替えのできる地区的整備と、子供を育てやすくする整備と2人目以上の子供の補助金を進める	①やはり、水の郷が旭の軸と考える。「水」をコネクトとした事業や取り組みを強く打ち出すべき。温泉が3ヶ所存在しているが、とても温泉郷と言ついいレベルではない。その点、日本酒は矢作川好適蔵酒など对外に発信している。釣りも同じに今からでも水の郷の復権へ。
小渡	男	65~69歳	お役を少なくする。	②空き家バンクについて:從来住み暮らす東加茂住民を不幸にしていないか?制度の見直しを強く求める
小渡	女	65~69歳	風鈴祭の街のかざりの充実	③正当事者がバカを見る風潮が旭にはある。どんどん住みづらくなつっていく。

笠戸	女	40~49歳	新しく何かを興すのではなく、今あるもの(例えば篠戸温泉や水の郷 旭)とと言われる由縁となつたもの)を使つていくべきだと思う。せっかく作ダム、製作川があるのでから、これらをもっと活かしてほしい。	笠戸	男	75歳以上	若い人が自宅から通勤できるように働く場所の検討→若い人が旭から出て行かない魅力ある地域づくり。 子供が少ないと未婚者が多い。
笠戸	女	40~49歳	今ある行事を形を変えてでも続けていいけるよう次世代へ教えてほしい(祭の笛、太鼓、しめ縄作り等)	笠戸	女	75歳以上	田畠だけなく、鳥獣が多く、安心して住むことができない
笠戸	女	50~59歳	持続できる町内会活動の取り組み(10~15年後、町内会が存続しているのか不安)	笠戸	男	75歳以上	アンケート→何が知りたいの?
笠戸	男	50~59歳	定住促進ではなく、企業誘致(働き場所)を小規模から徐々に進め、働きたい人やここで自ら住みたい人が安定して居住できる施設にする。無理に移住させない家賃 土地代が安いからという理由での入集めは、コミュニティが壊れる原因となりかねない。	笠戸	女	75歳以上	笠戸温泉の再開発を望んでいる 笠戸温泉の復活
笠戸	女	50~59歳	本当に思うことなんて書けない	笠戸	女	75歳以上	高齢者が年々多くなる。家に引きこもりにならうような、誰にでもできる、運動を始めた遊びのような行事を取り入れてほしい。
笠戸	女	60~64歳	小さくともよいので、スーパーがほしい	笠戸	回答しない	回答しない	人、特に若者がどんどん減っているのに、何かする必要があるのでしょうか?
笠戸	男	65~69歳	住民が住むのに必要な施設、出来て行った住民が戻つてくる、新しい住民が住みたくな ような施設の設置と、道路の安全確保をお願いしたい。現状、黒道を見ると、歩道を歩けない道がほとんどない。見直しをお願いします。	敷島	男	中学生	楽しい行事つづけ
笠戸	女	65~69歳	しさしまの家に行つたが、近所の人が気軽に集まれるとそこがでさせてうれしいと言わられる人が多い。地域で集まれる場所がもつとあるうれしい。	敷島	女	中学生	特にない クラシカの被書を減らす
笠戸	女	65~69歳	若者が旭地区に住みたいと思えるような仲間づくり	敷島	男	15~19歳	今後、力を入れ取り組んで行くべきだと思うことは、日用品などを売っている場所を山間部にも作るべき。
笠戸	男	65~69歳	高齢者が増え子供が少ない状態は、若者(働く現役世代)の負担増を招きかねない。若い世代が帰つて来て、安心して子育てできる地域づくりができるよといふと思うが、難しい。高齢の担当手どなつて活躍してほしい。また、女性ももっと各方面でその能力を発揮してほしいと願っている。	敷島	女	15~19歳	正直などろ、中学生や高校生などの若者が楽しめる地域イベントがコロナ禍で減少している。あさひまりやスポーツクラブはコロナ前のようになつてほしい。スポーツクラブはもう少し若い世代が競技に参加していくば、継続していくと思う。あと、学生の中で「小渡のイベントは小渡の人のみ、敷島のイベントは敷島の人のみが参加する」という変な偏見があるので、そこでを少しでもなくせばもつとよいと思う。イベントの持だけでも交番機関を増やすでほしい。
笠戸	男	70~74歳	移住者が多くなるのはよいかが、旭住民の良きところがなくならうようにしてほしい!	敷島	女	19~29歳	高齢者が多い地域なので、多発している詐欺や犯罪などの啓蒙活動に力を入れてあげてほしい
笠戸	女	70~74歳	旭地区は愛知県で初めて紙漉きがされた場所で、三河桑下紙が漉かれていた。全国的に無くなつてゐる紙漉きは本当にいい仕事で、必ず日本に残さなくてはならない伝統工芸。次の世代、未來ある子供たちのために「旭で和紙づくり」として継承を行い、紙の好きな人たち、修復家、アーティスト、海外の人たちが来られ、自由にものづくりができ、旭地感が美術や音楽を中心としたアート街づくりをし、10年後、100年後の旭地区を考えている。どうか、よろしくお願ひします。	敷島	男	30~39歳	放置された糞棄物の問題 山が多いので、少しずつでも杉やヒノキではなく、広葉樹(花がキレイなものや、蜜源植物、実のなるものなど)を植えていきたい。いつか旭の資源となつたらしい。
笠戸	男	65~69歳	・旭内での収入確保	敷島	女	30~39歳	総合体育館にコーラーを付けてほしい。
笠戸	女	65~69歳	旭地区は愛知県で初めて紙漉きがされた場所で、三河桑下紙が漉かれていた。全国的に無くなつてゐる紙漉きは本当にいい仕事で、必ず日本に残さなくてはならない伝統工芸。次の世代、未來ある子供たちのために「旭で和紙づくり」として継承を行い、紙の好きな人たち、修復家、アーティスト、海外の人たちが来られ、自由にものづくりができ、旭地感が美術や音楽を中心としたアート街づくりをし、10年後、100年後の旭地区を考えている。どうか、よろしくお願ひします。	敷島	男	30~39歳	移住者が増えたら、子供のための施設が充実を。今の人口比に対応した施設の取り方では、その人口比傾向を加速させる。(より高齢化が進む) 増やしたい層のための施設を取りましょう!
笠戸	男	70~74歳	旭地区は愛知県で初めて紙漉きがされた場所で、三河桑下紙が漉かれていた。全国的に無くなつてゐる紙漉きは本当にいい仕事で、必ず日本に残さなくてはならない伝統工芸。次の世代、未來ある子供たちのために「旭で和紙づくり」として継承を行い、紙の好きな人たち、修復家、アーティスト、海外の人たちが来られ、自由にものづくりができ、旭地感が美術や音楽を中心としたアート街づくりをし、10年後、100年後の旭地区を考えている。どうか、よろしくお願ひします。	敷島	女	30~39歳	子供がもっと遊べる場所がほしい。移住者の受け入れ。人口減少が少しでもかるやかになるような取り組み。
笠戸	男	70~74歳	旭地区をいかに集約させ得いか。支所をなくしてもいいと思う。先の短い年寄りの意見ばかり聞いても仕方がない。年寄りの意見よりも若者の意見を優先して考えるべき。ムダなどごろにお金を使わない。自ら好んで山奥に住んでおきながら、バス代を無料にしようといふのでは。	敷島	男	50~59歳	20~30代の若い世代・夫婦で旭に住みたいと考える人は、行政等が把握しているよりも多くいると思う。私の知人も旭に住める場所を検討していたが、見つからず諦めた。豊田市街地でアパートを探すのと同じくらい簡単に検討できることが必要だと思う。市営住宅の戸数は足りていないと思う。戸建てを建てることのできる分譲地も必要だと思う。
笠戸	女	65~69歳	景観の改善、耕作放棄地を減らす or 美化(草刈り)、日本の里山・田園風景を復活、美しい里山、不便さの面倒を高める	敷島	男	30~39歳	移住者はもつと講じてほしい。移住者に頼ることなく、地元の人のがんばってほしい。
笠戸	男	70~74歳					

敷島	男	30~39歳	定住を希望される方がいても家を建てられる土地が少なく、人口増加につながりづらい。空き家・ベンチ等ではなく、将来的に定住できるような宅地提供が必要だと思う。	敷島	女	40~49歳	高齢化が進む町内で、主となって役をこなせる人も減ってきて、残った人に負担が多くなってくる。町内の行事、祭事、作業などの廃止や回数を減らす等、考えた方がいいと思う。農地の管理も、景観というこだけて続けていくことは本当に無理。高齢者が運転できても、通院や買い物に困らないような仕組みができるといいと思う。
敷島	女	30~39歳	子育てしやすい環境も大切だが、高齢者が増えしていくと思うので、高齢者に優しい町づくりが最優先。また、高齢者を支える世代の人の確保。	敷島	女	40~49歳	現役世代が減っているのに、今までど同じようなやり方や同じような地域の役を担つていくのは無理なので、検討すべき
敷島	男	30~39歳	・宿泊連携した観光の在り方	敷島	男	40~49歳	・人口減少と高齢化で、できることが減ってきたが、できる範囲で楽しめることだと思う。
敷島	女	30~39歳	・旭にお寺や神社の活用	敷島	女	40~49歳	・災害も歴害も山の管理が原因だと思うので、もっともっと真剣に地域、行政が取り組む必要があると思う。今現在の対策と未を見据えた2つのことを同時に進行でやるべき
敷島	男	40~49歳	雇用、仕事さえあれば若い人も集まりやすくなるのでは。	敷島	女	40~49歳	旭地区は、全体的にとてもあたたかい人間関係のあるところで、これだけの宝だと思う。
敷島	男	40~49歳	インターネットの光回線の充実、水資源の保護	敷島	男	40~49歳	・森林(山林)の整備が持ったなしの課題だと思う。このままでは農業をする人が減ってしまうし、農地も荒れてしまう。時間はかかるが、間伐の足進、人材育成、小中学校での山の教育、簡易材の利用促進など、進めていただきたいと思う。
敷島	女	40~49歳	個人的には観光よりも住みやすさをアピールして、定住・移住を促進した方がいいと思う。豊田にも名古屋にも通勤しても、すぐ、静かな山里として住みたい人はいると思う。	敷島	男	40~49歳	温泉街の復興など、その地域にいかない宝を活用した事業をやって町興しをしていくべきだと感じる。地域再興。
敷島	男	40~49歳	雇用、仕事さえあれば若い人も集まりやすくなるのでは。	敷島	女	40~49歳	鳥獣害対策を進めほしい。動物が多すぎる。外出するのも安心できない。
敷島	男	40~49歳	旭に限ったことではないが、少子高齢化が進み人口減少がますます加速していく中で、移住定住のひとつ大きなカギとなるのが教育だと思う。他県では教育に力を入れ、移住者が増えた事例もある。今、多様な教育ニーズが増加、この山間部で自然豊かなオリジナルの教育を展開してみては? 岩根沢・地味まい留学などは移住や開拓人口が増えたと聞いた。	敷島	男	40~49歳	公共交通機関の充美をお願いしたい。若者が住みやすい町にしないと出て行く一方。町ではできない、中山間だからできる教育環境の向上は、移住者層にもつながる。今、旭は選択肢が公教育一択なんだめ、教育がワックなる移住者は少ないので、そこを充実させるとより多くの世帯に移住を検討してもらえるようになるでしょう。
敷島	男	40~49歳	りありえず人が集まらない(住まない)ことには始まらないので、定住が進むように衣食住の確保と、そのための就労場所の確保が必要だと思う。	敷島	男	40~49歳	地域外の方が交流できる機会や場所を増やすこと
敷島	女	40~49歳	高齢者の方が一生懸命作った野菜を動物に食べられ、田畠を荒らすため、鳥獣害対策に力を入れて取り組んでほしい。網は動物が噛みちぎってしまうため、細い金網で対策してもらいたい。	敷島	女	40~49歳	地域外の方が少しはあるといふと思う。
敷島	回答しない	40~49歳	田舎でもちゃんと草刈り等をしてほしい	敷島	女	40~49歳	子供が遊べる公園などがあるといふと思う。
敷島	回答しない	40~49歳	市道もちゃんと草刈り等をしてほしい	敷島	女	40~49歳	歩ける範囲に買い物できるところがあるといふと思う。
敷島	女	40~49歳	中学生の事業でハラベーニヨのことを知つて好きになり、自分で烟で育て、今年初めて出展した。中学生や足助高校などコラボで何か取り組んでいけるといふと思う。	敷島	女	40~49歳	移住者の受け入れをすることは、人口減少に少しでも歯止めがかかりそれ自体はいいことだが、移住者のドーブルが多いので、しっかり審査をして見極めて受け入れしないと後々大変なことになると思う(もうなついているかもしないが)。
敷島	女	40~49歳	地域住民と学校の連携。学校だけでなく地域で安心して子育てができると、未来は明るくなるだろうと思うから。	敷島	女	50~59歳	災害が増えているので、特に独り暮らしの老齢の方などは災害時にどのように自分を守るか、また避難するかシミュレーションしたり、また温暖化のせいかな熱中症が増えているので、どのように対策をかなどの知識を持つべく、教育的な場を設ける。地区の集まりの際などでもいいかも。
敷島	男	40~49歳	旭地区で生まれ育った人へのアプローチに力を入れてほしい。一度地元を離れることは良いことだと思いますが、ロータンクを期待する。	敷島	女	50~59歳	田畠の黙害対策、特に猪で放れた土手など、個人の力ではなかなか修繕できない。荒らされない対策と合わせて考える必要がある。
敷島	女	40~49歳	・田んぼや畑を使つていないと、虫を抱いておもしり埋め立てて宅地を作るべき。矢作川からの砂も空き家をどうにかしないと、景観も悪い危険。いつ崩れるか不安だし、こわい。	敷島	男	50~59歳	農地の保全、鳥獣害対策の推進
敷島	男	40~49歳	環境美化のようなら地域の作業の負担軽減。作業内容が住民の数に合わないので、参加行事だけで住みにくく環境になつている。	敷島	男	50~59歳	何を知りたいのかわかりません
敷島	女	40~49歳	土日に何度も集まることが減らつたりがちだ。この地域に住む上で大切なことは必要なことは、昔から続いているから、「やめると言いつらいから」という理由が大きくなるし、今以上にすみやすくなるがななど感じる。	敷島	男	50~59歳	地域の充実、老後の生活、子供支援、地域の活性化
敷島	男	40~49歳	住みやすい町にするには、不要なを解消することが大きいと思う	敷島	女	50~59歳	移住者を受け入れることも大切だと思うが、子供たちが地元に残つて暮らしたいと思える環境も見直して考えてもらいたい
敷島	女	40~49歳	自治区の統廃合、町内会の統廃合および神社やお寺の合併、集約が必要	敷島	女	50~59歳	旭の公共施設にフリーWi-Fiがほしい。ネット環境の充実、キャッシュレス化を積極的に取り入れると若い世代が住みやすくなると思う。
敷島	男	40~49歳	人が少くなり、草刈り、道路整備まで手が回らないので、ロボット等を活用できる仕組みを作れたらいいと思う。	敷島	男	50~59歳	足跡の跡並みのようなら、一つのものと掛け合わせた価値を出してほしい。豊かな自然環境を活かして、別のものと掛け合わせた価値を摸索するのがいいのかな
敷島	女	40~49歳	空き家を親族ではどうするこもできない(費用面で)場合の対策が公的なもので助けてしまえるとありがたい。	敷島	男	50~59歳	お米のおいしい地域だが、認知されていないように思う。ミネアサヒも下山、新城のイメージ。旭地区としてもアピールして売やすい環境にすることが、田畠を守り農村を守ることにつながると思う。
敷島	男	40~49歳	もつど元民の力を引き出して、町のアピールに参加してもらうべき	敷島	男	50~59歳	

敷島	男	50~59歳	今後20年以内に消費が予想される地区の終活が必要だと思う	やはり関係人口を増やすには、なんといつても道路が必要。旭は他の小原、足助、下山)に比べてとにかく道路が狭い。道もくねくなっていて、市街地から時間がかかる。岐阜方面に抜けるにも道がとても悪い。とにかく道路整備が重要課題であると思う。町づくりする上で必須であると思う。
敷島	女	50~59歳	若者を中心に旭を考える取り組みをしていけば、世代はつながっていくと思う	防災や避難所運営に女性が参画できるよう、自治区運営にももっとエンター平等の視点が必要と思う
敷島	女	50~59歳	次世代が戻ってきて、安心して子育てできる環境づくりは早急に取り組まなければいけないと思う。どんな対策をしよう、人がいなければ将来はないと思う。それも旭元出身の子が親に残っているが、高齢の方が多いので、情報伝達、共生で発展していくべき地域課題について皆さん問題意識を持たれているが、高齢の方になるにつれて、情報伝達、共有が遅れてしまうように思う。情報交換がスマートースでできるようになるだけでも、解消できることも多いと思う。魅力的な地域資源がたくさんある地域だと思う。	次世代が戻ってきて、安心して子育てできる環境づくりは早急に取り組まなければいけないと思う。どんな対策をしよう、人がいなければ将来はないと思う。それも旭元出身の子が親に残っているが、高齢の方が多いので、情報伝達、共生で発展していくべき地域課題について皆さん問題意識を持たれているが、高齢の方になるにつれて、情報伝達、共有が遅れてしまうように思う。情報交換がスマートースでできるようになるだけでも、解消できることも多いと思う。魅力的な地域資源がたくさんある地域だと思う。
敷島	男	50~59歳	田舎を大切にし、良さを最大限引き出すことが直近の課題と考える。	田舎を大切にし、良さを最大限引き出すことが直近の課題と考える。
敷島	男	50~59歳	田舎暮らしに必要なものは何か!まだ、どのような環境であれば住みたいと思える町となるのか!?ぼちぼち真剣に考える時期に来ていると感じる。	田舎暮らしに必要なものは何か!まだ、どのような環境であれば住みたいと思える町となるのか!?ぼちぼち真剣に考える時期に来ていると感じる。
敷島	女	50~59歳	森林、道路沿いの木、竹の処理	森林、道路沿いの木、竹の処理
敷島	男	50~59歳	高齢だから協力できないではなく、あと10年もすれば高齢者(かいない環境など)間違いないのだから、今から70代、80代の人も元気な人は進んでいろいろなことをしてほしいと思う。子育てしている人に役員などをお願いするところには、1ターンもリーダーもないし、魅力を感じられないと思うから。	高齢だから協力できないではなく、あと10年もすれば高齢者(かいない環境など)間違いないのだから、今から70代、80代の人も元気な人は進んでいろいろなことをしてほしいと思う。子育てしている人に役員などをお願いするところには、1ターンもリーダーもないし、魅力を感じられないと思うから。
敷島	男	50~59歳	・高齢化に伴い、病院に通える手段が必要。	・高齢化に伴い、病院に通える手段が必要。
敷島	女	50~59歳	・県道・土岐足助線 杉本～小渡間をループ橋等で大型車両でも通行しやすくする。国道への格上げ。	・県道・土岐足助線 杉本～小渡間をループ橋等で大型車両でも通行しやすくする。国道への格上げ。
敷島	男	50~59歳	・日用品店等の説致。	・日用品店等の説致。
敷島	男	60~64歳	人口が増えるように、仕事が地区で行えるようにしてください	人口が増えるように、仕事が地区で行えるようにしてください
敷島	女	60~64歳	高齢者になつても、車を運転するのは大変になつてるので、近場で活動する場所があるのはありがたい。高齢者に限らず、若者にも魅力ある企業があれば人は集まると思う。	高齢者になつても、車を運転するのは大変になつてるので、近場で活動する場所があるのはありがたい。高齢者に限らず、若者にも魅力ある企業があれば人は集まると思う。
敷島	男	60~64歳	年毎に体力がなくなり、お付き合いもできにくくなつた。若者と暮らしているつけてでもなく、夫婦二人暮らしで自治区の役員などが負担になつてきた。定年もないの	年毎に体力がなくなり、お付き合いもできにくくなつた。若者と暮らしているつけてでもなく、夫婦二人暮らしで自治区の役員などが負担になつてきた。定年もないの
敷島	女	60~64歳	で、役に立てなくとも役員にはしぶしぶが行かざるを得ず、困つてるので考えてほしい。	で、役に立てなくとも役員にはしぶしぶが行かざるを得ず、困つてので考えてほしい。
敷島	男	60~64歳	市道、県道の整備、安全確保、働く場所の拡大(工場誘致等々)	市道、県道の整備、安全確保、働く場所の拡大(工場誘致等々)
敷島	女	60~64歳	道路近くの樹木が伸びて道路に覆いかぶさり、道が狭く感じるとこがある。個人の土地の木もあるだろうけど、切つて道路が明るくなるといふと思う。	道路近くの樹木が伸びて道路に覆いかぶさり、道が狭く感じるとこがある。個人の土地の木もあるだろうけど、切つて道路が明るくなるといふと思う。
敷島	男	60~64歳	空き家の利用の検討	空き家の利用の検討
敷島	女	60~64歳	・盆地気温がもつたらない。	・盆地気温がもつたらない。
敷島	男	60~64歳	・旭は良いところがたくさんあるのに、何かバラバラすぎてもつらいと思う。	・旭は良いところがたくさんあるのに、何かバラバラすぎてもつらいと思う。
敷島	女	60~64歳	わくわく事業など住民が主体的に参画できる事業が重要だとと思うが、採択のプロセスなどの情報公開や民主的なプロセスが必要だとと思う。審査会が申請団体だと利害関係が生じるステークホルダーなので、適正な審査でない状況が生ずる心配がある。	わくわく事業など住民が主体的に参画できる事業が重要だとと思うが、採択のプロセスなどの情報公開や民主的なプロセスが必要だとと思う。審査会が申請団体だと利害関係が生じるステークホルダーなので、適正な審査でない状況が生ずる心配がある。
敷島	女	60~64歳	役員になつた時の負担が大きい。子育て世代が楽しめる行事を大切にしてほしい。	役員になつた時の負担が大きい。子育て世代が楽しめる行事を大切にしてほしい。
敷島	女	60~64歳	小渡・敷島という意識があり、旭地区の町づくりとして1つには考えにいくところがある。特に豊田市内または他地域に勤めに出ていたり、何かをしたりする余裕がないと思う。住民を増やすために、住宅地整備など取り組めたらよい。	小渡・敷島という意識があり、旭地区の町づくりとして1つには考えにいくところがある。特に豊田市内または他地域に勤めに出ていたり、何かをしたりする余裕がないと思う。住民を増やすために、住宅地整備など取り組めたらよい。
敷島	男	60~64歳	・とにかく町の活性化を図る。	・とにかく町の活性化を図る。
敷島	女	60~64歳	・若者が住んでくれる町づくり。	・若者が住んでくれる町づくり。

敷島	女	70歳以上	・観光:観光スポットの整備 ・特産品:土産物の開発 ・ラリーや風鈴などもつとアピール ・パワースポットなどの整備、海外にもインスタでどんどんアピール	家の周りの整備、雑木など大きな台風や大雨がこない。日も当たらなくなり、農作もできなくなる。とにかく重、猪、ハクビシン、野黒が多く困っている。野菜を食べられてしまった。	学生との交流の記事を見ると、旭の農業体験の交流を増やし、年間の作物の成長、管理の重要性、収穫の喜びを体験し、田舎の良さを少しでも理解されるよう交流してほしい
敷島	男	70歳以上	定住対策、景観維持	人々が旭に住みたい町づくりを	人口が減っている状況を考え、荒れている田畠、山林をどうかしてほしい。
敷島	男	75歳以上	高齢化により美しい里山の景観が維持できなくなつていい。農業を含めて、地域全体を支える仕組みが必要。	もつと車を出してほしい。年寄りはどうにも行けない。	年を重ねて、農業ができなくなるのはすぐ目の前。荒れ地が増えることは残念なこと。
敷島	女	75歳以上	若者が住みやすい環境、医療、通学 買い物	・豊田の気温上昇に、この地区は3~4℃低いことを取り上げて教育してもらいたう	私にはわからない
敷島	女	75歳以上	それぞれの地区で力を入れていることを進めていけば、旭地区全体の町づくりになるのではないか	・温泉の街として復活できないものだらうか。大切な地域資源だとと思う。	・昔から継承している人間関係が大切だと思う。
敷島	男	75歳以上	新聞、TV、ラジオ等の放送機関へ旭地区の出来事や取り組み事業をどんどん提供していい。小さなどこでも報道で扱つくれると大きくなり、旭地区的宣伝ができる。	・インフラの整備;道路、駐車場	・地区への定住希望者に住民ごとの支援を惜しまないこと
敷島	男	75歳以上	幅広い年齢層が一つに、また一緒に行える催し物等企画してもらいたい	・豊田の気温上昇に、この地区は3~4℃低いことを取り上げて教育してもらいたう	・豊田の気温上昇に、この地区は3~4℃低いことを取り上げて教育してもらいたう
敷島	男	75歳以上	①中山間地は、大気中のCO ₂ を吸収して水と酸素を出す大事な工場だが、守る姿勢が政治に見られない。	・生きの家の家ができてしばらくしない。	・生きの家の家ができてしばらくしない。
敷島	男	75歳以上	②中山間地の田畠、山は利益にならないため、若い人はタダでももらいたくないと考えている。	・生活環境を旨で良くしていきたい。	・昔から継承している人間関係が大切だと思う。
敷島	女	75歳以上	①を考えると守らないといけないと思う。そういう仕組みづくりが必要。	・万町の産廃と水道の調査	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	男	75歳以上	長年の歴史なので、どこへも行けない	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	女	75歳以上	古くから地域にある史跡、文化等を継承、保存、守つてほしい(鳥觀杉、弘法山の地蔵さん等)	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	女	75歳以上	今回できたしきしまの家は本当にすてき。考えられた方々には頭が下がる。敷島の誇りとして、これからもますます栄えていくことを願っている。	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	男	75歳以上	空き家が本当に多いので、一組でも入居してもらえるように町ぐるみで応援してほしい	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	男	75歳以上	若者たちに住宅団地ができない	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	男	75歳以上	旭を自慢できるようになると良い	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	女	75歳以上	地域外へ出た子供たちがいつでもまた戻って生活できるようにいろいろ取り組んでください	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	男	75歳以上	二ノビニの設営	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	男	75歳以上	近頃とても淋しいなあと思うことは、地域の中に地域を良くしようという世代がいる。住民一人一人が自分の地域を守る。いつも心に留めて暮らしたい。	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	男	75歳以上	文書やPC、スマートメール等による講話が多く、口から口への伝言が少ない。人ととの会話をよろしくさせたい。	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	回答しない	75歳以上	この家の施設が原点を守り、住民の居場所であり続けることを願つて	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	男	75歳以上	いる。住民一人人が自分の地域を守る。いつも心に留めて暮らしたい。	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	男	75歳以上	多くの家がほしい。ボストに入れるだけでなく、一言を添える配り方を工夫できないか。	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…	・商店街の活気、買い物できる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使う事が全くない。経済が回らないから何年後に旭地区なくなりそう…
敷島	男	75歳以上	山林資源の活用	・鹿が自然環境や集落活動、田畠、森へ被害を大きく与えている。根本的な対策を地域全体として取り組みたい。	・鹿が自然環境や集落活動、田畠、森へ被害を大きく与えている。根本的な対策を地域全体として取り組みたい。
敷島	男	75歳以上	大変な時代で、上に立つ方はご苦労されていると思うが、何をやっても笛吹けけど何とかで、地元の方に参加されるようないベントを考えねばと…。どこ誰がつからない芳い人ばかりでは、どこかの花火と同じで一発で終わり。インターネットや向やらで集まつた人たちだけの、数を集めればの行事は無意味では。何をするかはこれからの中の課題ではないえ大変。リードもいいが、もひとつやることは税金の使い方も含め。	・旭の中で働く機会づくりや見える化。	・旭の中で働く機会づくりや見える化。
敷島	男	75歳以上	若者に安定した仕事があること。農林産物に採算の合う価格保証を求める。	・山林農地の管理維持。子供たちは外に出ており、たぶん旭地区には戻つて来ないだろう。水路他、黙舌棚等、補助金を活用して整備した農地が原野になる。	・旭の中で働く機会づくりや見える化。
敷島	男	75歳以上	伝統行事以外で、趣味など一生懸命携わっている方々の紹介と、その方達が継続できよう市役所として補助、援助するような手立てを考えるのはどうか?	・継続できることが増えていくと思われる。残の手立てでやめてしまうのが、決断していくことが望ましい。	・継続できることが増えていくと思われる。残の手立てでやめてしまうのが、決断していくことが望ましい。
敷島	女	50~59歳			

築羽 男 50~59歳 地元だけでなく、地域外の人とも協力して活動できる体制(環境)づくりもあればと感じる	築羽 女 50~59歳 鹿や鳥など害獣をどうにかしてほしい	築羽 女 75歳以上 田畠の維持管理が高齢化で困難となるので、市・県・国での対応を検討してほしい。「10年後、20年後は田畠は荒れ放題となってしまう」
築羽 女 50~59歳 全ての地域活動の見直し(縮小廃止)	築羽 男 60~64歳 「道路法面、田畠法面の草刈りを全て公費で実施	築羽 男 75歳以上 少子高齢化が進んでおり、若い人が一人でも多くこの地で定住し、生活が成り立つ地域づくりが推進されることを期待する。
築羽 男 65~69歳 10年後にはおそらく現在の田畠の70%以上が耕作されていないと思う。田畠を荒らさずには次世代へ渡す方法を考えないといけないと思う。例えば、動植物に田畠を守つてもらう世話を皆で考えてみたい。	築羽 女 65~69歳 地区の行事などお年寄りに声をかければ参加してくださるのに、中間の若い人達が参加しない様な！気持ちが悪いのか？もう少し参画して協力できる関係ができると良くなっているでは？元気よく、みんなで楽しく！	築羽 女 75歳以上 少子高齢化が進んでおり、若い人が一人でも多くこの地で定住し、生活が成り立つ地域づくりが推進されることを期待する。
築羽 女 65~69歳 誰でも憧れる町になるように	築羽 女 65~69歳 広域農道の木を切った方がよい	築羽 男 75歳以上 介護施設が少ない。遠くに行くのは嫌だ。
築羽 女 65~69歳 移住者、定住者の受け入れについて、地区の決まりごとに添えない人は受けれない方がよいと思う。後に長いトラブりに繋がると思う。	築羽 女 65~69歳 通過型ではなく、滞在型の観光地を目指して	築羽 男 75歳以上 困りごとの吸い上げをし、各団体でも行っているため、それらをまとめ、やつてもらえる方法を考えていく。例えば、おいでん山村センターなど。
築羽 女 65~69歳 移住者、定住者をいかに増やすか	築羽 男 65~69歳 届用創出からの拡がり	築羽 女 75歳以上 人を集めると仕組みが不足している。来ても電波が入らなかつたりと、不便を感じる声をよく耳にする。
築羽 女 65~69歳 若者がどんどん出て行ってしまい、残るのは高齢者ばかり。若い人達が地域で働くこと	築羽 女 65~69歳 がでさ、親、子、孫等が一緒に地域に残って生活できる環境を作つていただきたい。	
築羽 女 65~69歳 小中学校の統合(旭地区内に限らず)	築羽 女 65~69歳 ・笠戸温泉の再生	
築羽 女 70~74歳 人口向人の町づくりを目標にしているのか？農地や森林の保全、集落の維持が保たれてほしい	築羽 男 70~74歳 やれば良いのか？企業の誘致や住宅の確保、商業施設の充実がなければ若者の人口増加は見込めないと思われるが？	築羽 男 70~74歳 理想論ばかり言っているのではなくやめにして現実をしつかり見た対策、行政、他を行つてほしい。地元に残った人々にこれ以上の負担の強要はやめるべきだと思います。外部より町へ入ってくる人々を、市(町)はしつかり見極めて、地域の負担を作らない様、このアンケートも1setどれだけのお金がかかっているのか疑問だ。ムダは小さなことから省いてほしい。
築羽 女 70~74歳 今後、ますます人口減少と高齢化が進む中、自治区単位での高齢者見守り、お助けなどの制度が必要になると思われる	築羽 男 70~74歳 高齢化が進み、自分が体力劣化となり、今までのように活動できなくなつたことで、地域との関わりがますます低くなつた	築羽 男 70~74歳 温泉地名の復活
築羽 男 70~74歳 旭で何かできるかな？お米、野菜、果物づくりに挑戦して、旭にはこんなにおいしいものがあると言いたい。家の近くに食事のできるところができるといいなと思う。	築羽 男 70~74歳 その後、ますます人口減少と高齢化が進む中、自治区単位での高齢者見守り、お助けなどの制度が必要になると思われる	築羽 男 70~74歳 旭で好きな道を選択できる時代になつたためにには、仲間の協力があり、文化的な環境があり、仕事をあり、田畠を守ることができる環境づくりが大切だと思う。住んでいる人が幸せならば、若い人も集まつてきたり、子供達も残ってくれるのがなと思う。
築羽 女 70~74歳 住んでいる人々が幸せで満足するためには、仲間の協力があり、文化的な環境があり、自分の選択する人生が変わつたなと思った	築羽 男 70~74歳 高齢化が進み、人口が減少していく地域ではあるが、それを止めるとか人々が多く集めることに力を入れなくていいと思う。世の中の自然な流れであり、若い人達が自分	築羽 女 70~74歳 教育に力を入れてほしい。大人になつた時に、東京で育つていればもっと情報がある
築羽 男 70~74歳 ・公共交通、道路整備など、インターネットでの情報量は増えたが、実体験ができる時間、空間に行くのに時間がかかる。	築羽 男 70~74歳 幸せならば、若い人も集まつてきたり、子供達も残ってくれるのがなと思う。	

旭地区のまちづくりについて、あなたの意見をお聞かせください！！

旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査

日ごろから旭地区のまちづくりにご理解とご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和3年に旭のまちづくりの『道しるべ』として策定・運用してきました

「第2次旭地区まちづくり計画」の前期5か年計画が、令和8年3月末で終了します。

地域会議では引き続き、今後のまちづくりについて、その方向性を皆で共有し、

オール旭で取り組んでいために後期5か年計画を策定していくことしました。

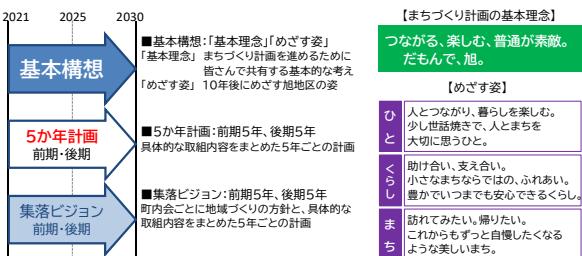
そこで、計画の策定にあたり、前期5か年計画を振り返り、皆さまのご意見やアイデアを

参考にさせていただきたいので、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

令和6年7月
旭地域会議 会長 板倉小夜子



■現行の旭地区まちづくり計画



【まちづくり計画の基本理念】

つながる、楽しむ、普通が素敵。
だもんて、旭。

【めasuza姿】

■基本構想：「基本理念」「めasuza姿」
「基本理念」まちづくり計画を進めるために
皆さんで共有する基本的な考え方
「めasuza姿」10年後にめasuza旭地区の姿

5か年計画

前期・後期

集落ビジョン

前期・後期

■5か年計画：前期5年、後期5年
具体的な取組内容をまとめた5年ごとの計画

■集落ビジョン：前期5年、後期5年
町内会ごとに地域づくりの方針と、具体的な
取組内容をまとめた5年ごとの計画

ひと	人とつながり、暮らしを楽しむ。 少し世話を焼きで、人とまちを 大切に思うひと。
くらし	助け合い、支え合い。 小さなまちならではの、ふれあい。 豊かでいまでも安心できるくらし。
まち	訪れてみたい。帰りたい。 これらもずっと自慢したくなる ような美しいまち。

【アンケート調査の取扱いについて】

- 調査結果は数字で統計的に処理します。調査目的以外に使用することはできません。
- 無記名方式のため、個人が特定されることはありません。

【調査の対象】

- 1 旭地域に住む **15歳（令和6年4月1日現在）以上（高校生以上）の方、**
全員対象としております。

（中学生の方については、改めてアンケート調査をお願いさせていただきます）

【調査票の返信について】

- 世帯全員（15歳以上）の皆さまからのご意見をいただいて、今後の地域課題に取り組んでまいりたいと思いますので、たいへんお手数をおかけしますが、アンケート調査にご協力をお願いいたします。
- ご記入後は、町内会の指示に従ってご提出ください。

○町内会長さんから ⇒ 区長さんへは、**8月の各自治区の役員会の際か、それまでにお渡しください。**

○あなた（回答者）自身のことについてお聞きします。

あてはまる番号に○を付けてください。

問1	あなたの性別は？	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
問2	あなたの年齢は？ (令和6年4月1日時点)	1. 15～18歳	2. 19～29歳	3. 30～39歳
		4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～64歳
		7. 65～69歳	8. 70～74歳	9. 75歳以上
問3	あなたのお住まいの地区 (自治区)は？	1. 浅野自治区	2. 小渡自治区	3. 笹戸自治区
		4. 敷島自治区	5. 築羽自治区	
問4	あなたの出生地（お生まれ）は？	1. 旭地区内	2. 豊田市内（旭地区を除く）	3. 豊田市外
問5	あなたの家族構成は？	1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 親子（2世代）
		4. 親・子・孫（3世代）	5. その他（　　）	
問6	あなたの職業は？	1. 農林漁業	2. 会社員、公務員、教員、団体職員など勤め人	3. 自営業・家族従業
		4. パートタイマー・アルバイト	5. 学生	6. 専業主婦（夫）
		7. 無職	8. その他（　　）	
問7	問6で1～5に○をつけた方にお聞きします。あなたの勤務地（通学地）は？	1. 旭地区内	2. 豊田市内（旭地区を除く）	3. 豊田市外

1/6

2/6

1 旭地区のまちづくり全般についてお聞きします。

問8 現在の生活環境について伺います。

	生活の満足度				
	満足	普通	不満	わからぬ	
① 子育て、保育のしやすい環境、雰囲気がつくれている	5	4	3	2	1
② 移住者、定住者を受け入れる雰囲気が地域にある	5	4	3	2	1
③ 家を建て（替え）られる用地の確保など環境の整備が行えている	5	4	3	2	1
④ 公園やスポーツ施設が安全に利用できる	5	4	3	2	1
⑤ 必要なものが身近で購入できる	5	4	3	2	1
⑥ 幹線道路や生活道路が安心・安全に通行できる	5	4	3	2	1
⑦ 通勤や通学に必要な公共交通環境が整っている	5	4	3	2	1
⑧ 困ったときに助け合える近所付き合いが行われている	5	4	3	2	1
⑨ 町内会として解決が必要な課題や活性化に取り組んでいる	5	4	3	2	1
⑩ 集落の維持に必要な地域活動が行われている	5	4	3	2	1
⑪ 地域の課題解決等に必要な団体活動を行うことができる	5	4	3	2	1
⑫ 高齢者や子どもを地域で支えている	5	4	3	2	1
⑬ 洪水・土砂災害などの災害に対する安全性が保たれている	5	4	3	2	1
⑭ 自主防犯活動が充実している	5	4	3	2	1
⑮ 治安がよく、犯罪や事故に対する安全性が保たれている	5	4	3	2	1
⑯ 体力維持や病気予防のための取組などが充実している	5	4	3	2	1
⑰ 必要な医療・福祉サービスが確保されている	5	4	3	2	1
⑲ 高齢者が安心して暮らすことができる	5	4	3	2	1
⑳ 障がい者が安心して自分らしく暮らすことができる	5	4	3	2	1
㉑ 伝統文化や祭りなどの地域文化の保存、継承ができる	5	4	3	2	1
㉒ 豊かな自然や地域資源を活かした学校などの教育、保育環境がある	5	4	3	2	1
㉓ 知識や技術を継承するに必要な世代間交流が行われている	5	4	3	2	1
㉔ 来訪者に地域の素材を活かした特産品がいつでも提供できる	5	4	3	2	1
㉕ 観光客が訪れるイベント、観光スポットが充実している	5	4	3	2	1
㉖ 営農体制の維持などにより、田畠が適切に維持管理されている	5	4	3	2	1
㉗ 集落活動などにより、美しい農村景観が守られている	5	4	3	2	1
㉘ 農作物等を守るために必要な鳥獣害対策が進んでいる	5	4	3	2	1
㉙ 森林が健全に保全され、森林資源が有効活用されている	5	4	3	2	1
㉚ 「水の郷 旭」にふさわしい川を活用した取組が進んでいる	5	4	3	2	1

問9 今後、力を入れて取り組んで行くべきだと考える項目について伺います。

	取り組みの重要度				
	高い	普通	低い	わからない	
今後の取り組みの重要度について、ご自身の感覚で結構ですので、0～5の中からそれぞれ「あてはまる番号一つに○をつけてください。					
① 子育て、保育のしやすい環境づくり	5	4	3	2	1
② 移住者、定住者の受け入れ	5	4	3	2	1
③ 家を建て（替え）られる用地の確保など環境の整備	5	4	3	2	1
④ 公園やスポーツ施設の整備	5	4	3	2	1
⑤ 日用品の買い物環境の整備	5	4	3	2	1
⑥ 幹線道路や生活道路の整備	5	4	3	2	1
⑦ 通勤や通学に必要な公共交通環境の整備	5	4	3	2	1
⑧ 困ったときに助け合える近所付き合いの充実	5	4	3	2	1
⑨ 町内会として解決が必要な課題や活性化に取り組む	5	4	3	2	1
⑩ 集落の維持に必要な地域活動の充実	5	4	3	2	1
⑪ 地域の課題解決等に必要な団体活動の充実	5	4	3	2	1
⑫ 高齢者や子どもを地域で支える取組み	5	4	3	2	1
⑬ 洪水・土砂災害などの災害に対する安全対策	5	4	3	2	1
⑭ 自主防犯活動の充実	5	4	3	2	1
⑮ 観光のための環境整備	5	4	3	2	1
⑯ 体力維持や病気予防のための取組みの充実	5	4	3	2	1
⑰ 必要な医療・福祉サービスの確保	5	4	3	2	1
⑱ 高齢者が安心して暮らすことができる環境整備	5	4	3	2	1
⑲ 障がい者が安心して自分らしく暮らすことができる環境整備	5	4	3	2	1
⑳ 伝統文化や祭りなどの地域文化の保存、継承	5	4	3	2	1
㉑ 豊かな自然や地域資源を活かした学校などの教育、保育環境	5	4	3	2	1
㉒ 知識や技術を継承するに必要な世代間交流	5	4	3	2	1
㉓ 地域の素材を活かした特産品の開発	5	4	3	2	1
㉔ 観光客が訪れるイベント、観光スポットの充実	5	4	3	2	1
㉕ 営農体制の維持などによる、田畠の適切な管理	5	4	3	2	1
㉖ 集落活動などによる、美しい農村景観の維持、管理	5	4	3	2	1
㉗ 農作物等を守るために必要な鳥獣害対策の推進	5	4	3	2	1
㉘ 森林が健全に保全され、森林資源が有効活用される取組み	5	4	3	2	1
㉙ 「水の郷 旭」にふさわしい川を活用した取組み	5	4	3	2	1

3/6

56

4/6

2 旭地区的施設やイベントの参加（利用）状況について伺います。

問10 下記の中から、直近5年以内に利用または見学したことがある場所や施設などの番号に○印を付けてください。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------------|
| 1 矢作ダム堤内見学 | 2 貞觀杉（杉本） | 3 風鈴寺（増福寺・小渡） |
| 4 お須原山（東萩平） | 5 伊熊神社の社叢 | 6 時瀬大イチョウ |
| 7 押井の磨崖仏 | 8 市平七色木・かごの木 | 9 旭地区総合体育馆 |
| 10 島崎公園テニスコート | 11 島崎河川敷 | 12 笹戸河川敷 |
| 13 介木川（築羽地区内） | 14 介木川（小渡地区内） | 15 阿摺川 |
| 16 旭高原元気村 | 17 旭高原自然の家 | 18 フラッセル（旧築羽小学校） |
| 19 しきしまの家（杉本） | 20 すぎん工房（杉本） | 21 老人憩いの家 あさひ荘（加塙） |
| 22 おど観光やな | 23 旭地区内での川遊び | 24 旭地区内での山の散策 |
| 25 その他（
） | | |

問10の中からお勧めしたい場所・施設の番号を選び、その理由をご記入ください。

番号	理由

問11 下記の中から、直近5年以内に参加したことがあるイベントの番号に○印を付けてください。

- | | | |
|------------------|-----------------|--------------------|
| 1 あさひまつり（文化作品展） | 2 つくばの春まつり | 3 上中のしだれ桃 |
| 4 小渡夢かけ風鈴 | 5マイタウン・おいでん あさひ | 6 小渡天王祭 |
| 7 旭やまびこ花火大会 | 8 夢渡野ジャズライブ（小渡） | 9 笹戸温泉じねんじょ・もみじまつり |
| 10 山里のお歳展（東萩平） | 11 福蔵寺のご縁市（太田） | 12 コミュニティ主催スポーツ大会 |
| 13 交流館事業 | 14 ぬくもりの里 ぬくもり祭 | 15 あさひマルシェ（小渡） |
| 16 しきしまふらっと祭（杉本） | 17 すぎん工房祭り（杉本） | 18 WRC（ラリージャパン） |
| 19 その他（
） | | |

問11の中からお勧めしたいイベントの番号を選び、その理由をご記入ください。

番号	理由

問12 下記の中から、直近5年以内に参加または見学したことがある伝統行事の番号に○印を付けてください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 棒の手（地元地区） | 2 棒の手（地元以外の地区） |
| 3 打ち囃子（地元地区） | 4 打ち囃子（地元以外の地区） |
| 5 その他（
） | |

問12の中からお勧めしたい行事の番号を選び、その理由をご記入ください。

番号	理由

問13 自由記載欄

今後、力を入れて取り組んで行くべきだと思うことや、旭地区的まちづくりについてのご意見・ご提案をお聞かせください。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

回収用の封筒に入れて、町内会で指示のあった方法により提出をお願いします。

アンケートはバラさず、3枚とも提出してください。

令和6年7月実施

計画策定の経緯

(1) 策定の主な経過

◇旭地域会議 第2次計画の確認及び進め方の協議	2024年5月
◇「旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査」実施	2024年7～9月
◇団体ヒアリングの実施（8団体）	2024年7～9月
◇旭地域会議 前期5か年計画の振り返り及び総括	2024年10月～12月
◇「持続可能なまちづくり協議会」へのヒアリング	2025年1月～4月
◇後期5か年計画の骨子作成	2025年3月
◇後期5か年計画の内容検討	2025年4月～12月
◇後期5か年計画の策定	2026年2月

①旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査

第2次まちづくり計画後期5か年計画の策定に向けて、今後の旭地区のまちづくりに向けた課題、現状を把握するためにアンケート調査を実施。

調査対象：旭地区に住む15歳（2024年4月1日現在）以上（義務教育を終えた方）の全員2,136人及び旭中学校の全校生徒41人の合計2,177人

実施期間：2024年7月2日（火）～9月3日（火）

回収結果：有効回答数 1,356人 有効回収率 62.3%

②団体ヒアリング（地域会議で意見交換会実施）

前期5か年計画の振り返り及び各団体が考える課題と将来像について意見交換会を実施。

対象：旭高原元気村、旭観光協会、旭交流館、ぬくもりの里、おいでん・さんそんセンター、旭商工会、旭地域バスにのろまい推進協議会

実施時期：2024年7～9月

③団体ヒアリング（書面での回答）

前期5か年計画の振り返り及び各団体が考える課題と将来像について回答書の提出を依頼。

対象：旭木の駅プロジェクト、つくラッセル、すぎん工房、わくわく事業団体
旭中学校、小渡小学校、敷島小学校、小渡こども園、杉本こども園

実施時期：2024年7～8月

(2) 策定委員

■ 地域会議委員

第10期（2024年度・2025年度）

安藤 孝之 (笹戸)	◎板倉 小夜子 (敷島)
伊藤 和夫 (浅野)	伊藤 圭一 (小渡)
○稻垣 雅子 (浅野)	大塚 昌義 (浅野)
鈴木 雄也 (浅野)	富永 英明 (築羽)
鳥居 信宏 (小渡)	長澤 莊平 (敷島) ※2024年度未退任
成瀬 初恵 (小渡)	増田 尚子 (築羽)
柳井 清一郎 (笹戸)	渡邊 さとみ (敷島)

※50音順。（ ）内は自治区名

※◎は会長、○は副会長



第2次旭地区まちづくり計画

[2021～2030]

後期5か年計画 2026～2030

発行 旭 地 域 会 議
編集 豊 田 市 旭 支 所

豊田市小渡町船戸 15-1 TEL 68-2211 FAX 68-3476

asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp

2026年2月